

# 合併工事起工 概要書

部 長	次 長	課 長	課長補佐	課 員	課 員	課 員	審 査 員	設 計 者		
執行年度	令和 2 年度									
工事番号 工事名	R元国補・R2市単公下 合併第1号工事					第02-05-225-T-002号 起工 設計書				
工事場所 又は履行場所	石岡市					石岡 地内				
施工方法	請負					原契約年月日	年 月 日			
工期又は 履行期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで 120 日間									
受注者										
費 目	起 工	第 1 回変更	増 減 (△)							
起 工 額						変更請負に付する工事価格 = 変更積算工事価格 × 請負比率  請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$ (小数第7位切り捨て6位止め)				
請負(委託) に付する額										
工事(業務) 価 格						変更積算工事価格            -            円				
測量試験費 又は工事雑費						請負比率                            -            円				
消費税相当額						変更工事価格                    -            円				
請負(委託) 決 定 額										
工 事 概 要										
内 容	規格 1	数量 1	単位 1	規格 2	数量 2	単位 2	規格 3	数量 3	単位 3	
管路 (開削) 工事	L =	242.6	m	φ =	200	mm	土被り			m
管布設工 VUΦ200 L = 239.2 m										
組立 1 号人孔 N = 4.0 基										
汚水柵及び取付け管 N = 7.0 箇所										
付帯工 (仮・本復旧) N = 1.0 式										
変更理由										

# 位置図



# 特記仕様書

## 第1章 総則

本工事の施工にあたっては、「契約約款」「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」「茨城県土木工事施工管理基準」「茨城県土木工事出来高及び品質の規格値」「写真管理基準（案）」並びに本仕様書に基づき施工するものとする。

## 第2章 工事数量

当該工事における工事数量は、別紙「工事数量総括（内訳）表」のとおりとする。

## 第3章 現場条件

### 1. 工事期間

本工事の工事期間は、契約締結日の翌日から120日間とする。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇とする。

### 2. 作業時間帯

本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

作業開始 : 午前 9時00分

作業終了 : 午後 5時00分

### 3. 安全管理

- (1) 茨城県公安委員会告示第3号（平成19年2月22日付け）で指定された路上で交通規制を行う場合は有資格者（交通誘導員A）を適宜配置すること。また、その他の路線についても警備員（交通誘導員B）を適宜配置し一般交通等に支障を及ぼさないように十分に注意し施工するものとする。

また、受注者は工事の着工前に警備員の資格証明の写しを監督員に提出するものとする。

- (2) 工事中の安全施設は、地域住民の安全を守り、トラブルを防ぐために十分な施設を設置するとともに、その管理徹底を図り地域住民の安全な通行を図り事故防止に努めなければならない。また、休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施するものとする。

### 4. 使用機械

本工事の施工にあたっては、設計書に記載されている機械を使用するものとし記載されていない機械については使用しないこと。ただし、現場条件等により使用が困難な場合は監督員と協議するものとする。

また、設計書に明記してある排出ガス対策型の機械を使用する場合は、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。

### 5. 地下埋設構造物

- (1) 工事箇所が存在する地下埋設物については、事前調査を行い位置・構造・種別において熟知し、場合によっては試験掘りを行い作業員に至るまで埋設物の全容・取扱い・処置方法について周知徹底を図り事故防止に努めなければならない。

- (2) 地下埋設構造物が存在することが判明したとき、又は発見したときは、監督員に報告しその指示を受けなければならない。また地下埋設構造物管理者と綿密な連絡をとり十分に協調を保つとともに、工事前及び必要に応じ工事の各段階において施工方法、防護方法等について協議し施工しなければならない。

- (3) 埋設物に近接して実施する作業においては、埋設物に衝撃を与える作業機械を使用しない等、埋設物を損傷しないよう留意しなければならない。

### 6. 廃棄物の処理及び再資源化

- (1) 本工事の施工に伴って発生する廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて処理するものとし、指定処分については監督員の指示に基づくものとする。

- (2) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。
- (3) 受注者は、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項を書面に記載し、様式1（平成14年5月29日付け事務連絡「公共建設工事における建設リサイクル法に関する事務手続きの当面の運用について（通知）」の様式1）により監督員に報告すること。
  - I. 再資源化が完了した日
  - II. 再資源化等をした施設の名称及び所在地
  - III. 再資源化等に要した費用

#### 7. 付近の建物等への影響

受注者は工事着手前に近接建物及び構造物の写真撮影を行い工事による影響か否か判断できるようにし、工事による影響があると予想される時及び影響の出た時は、受注者の負担において必要書類を作成し監督員に提出しなければならない。またその処理、対策については監督員と協議しなければならない。

#### 8. 過積載の防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと、並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、又は不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

#### 9. 不正軽油の使用防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方又は燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令（地方税法等）に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

#### 10. 工事カルテ登録の対象工事

本工事は、工事カルテの登録対象工事であるので、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第1編第1章1-1-5コリンズ（CORINS）への登録」に則り、工事カルテの工事実績情報サービス（CORINS）への登録及び工事カルテ受領書写しの監督員への提出等を行わなければならない。

## 第4章 工事用地等

### 1. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 工事を行うために必要な用地等については、施工に先立ち、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。また、使用に際し必要な関係機関への申請・協議等は施工者の責任において遺漏無く行うものとする。
- (2) 工事期間中の資材置き場及び残土の仮置場等は、十分な安全施設を設置するとともに、その管理徹底を図り事故防止に努めなければならない。休日及び工事休止期間において定期的にパトロール等を実施し安全の確保に努めること。
- (3) 工事用地等の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な処置を講じた後、発注者に通知し、所有者の立会いを行ってから返還しなければならない。

## 第5章 工事用電力

1. 工事期間中に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とする。

## 第6章 工事材料

### 1. 材料

- (1) 工事に使用する材料については、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」に定める条件を満たすものとし、使用前に材料使用届を監督員に提出し承諾を得なければならない。

### 2. 現場発生品

- (1) 現場発生品のうち路盤材は、管路埋戻しに再利用することとし、使用規模及び使用の可否について事前に監督員と協議し承認を得なければならない。
- (2) 発生土については、下記に示す土質試験を行い規定値以上のものについては、埋戻し土として使用するものとする。  
コーン貫入試験   コーン指数   400kN/m<sup>2</sup> 以上  
CBR 試験         67回3層のCBR   3.0%以上
- (3) 埋戻し土として使用不可と認められる発生土は、下記の場所に搬入すること。

#### 搬入場所

茨城県石岡市 染谷 地内  
石岡ストックヤード《(財)茨城県建設技術管理センター》

- I 工事着手前に、(財)茨城県建設技術管理センター建設副産物リサイクル事業部（以下『管理センター』という。）より利用申し込み書類を取り寄せ、必要事項を記入のうえ監督員の確認を受けてから提出すること。
- II 事前に土質試料を採取してコーン指数試験（含水比を含む）等を行い、試験結果を管理センターへ提出すること。
- III 運搬10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程、ストックヤード利用上の注意事項等を打ち合わせる。
- IV スtockヤード利用料金は、管理センターの請求により支払うこと。
- V この他、ストックヤード利用の詳細については、管理センターと協議のこと。

問合先：財団法人 茨城県建設技術管理センター  
建設副産物リサイクル事業部  
水戸市青柳町4209  
TEL029-227-5634/FAX029-227-8558

### 3. リサイクル材の率先利用

使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

受注者は、設計で新材が指定されている場合においても、Aグループに区分された認定資材に代替できる場合は、積極的に努め、代替える旨について、施工計画書提出時に文書で

提出し監督員の承諾を得なければならない。また、受注者は、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達が困難な場合は、他の認定資材または新材に変更するものとし、その旨を文書で監督員に提出し承諾を得なければならない。

(1) 認定資材使用一覧

施工箇所	品目	規格	再生原料等の指定
表層工（仮復旧）	再生加熱アスファルト混合物	再生粗粒度アス（20）	指定しない
路盤工（仮復旧）	再生路盤材（再生砕石）	RC-40	指定しない
表層工（本復旧）	再生加熱アスファルト混合物	再生細粒度アス（13）	指定しない
表層工（本復旧）	再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度アス（20）	指定しない

## 第7章 施工計画

### 1. 検測

本工事の基準点及び水準点（B、M）は監督員の指示するものを検測して使用し、工事着手前に、平面図上の距離・現地盤高の確認を行うこと。また、工事施工上の納まりや、取り合いの関係で、材料・寸法・取付け位置・取付け工法等について止むを得ず行う軽微な変更及び測量誤差に起因する軽微な変更は、監督員と協議する。

### 2. 指定仮設

(1) 本工事に関する仮設は設計図書に基づき施工するものとするが、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討のうえ、設計図書により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(2) 受注者においても本仮設工に対する施工技術検討を行い、その内容を提出するものとする。

(3) 工事の施工については、受注者の責任において実施するものとする。

### 3. 任意仮設

(1) 本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。

(2) 上記の決定にあたっては、条件等に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、決定・変更するものとする。

## 第8章 施工管理

### 1. 施工管理

「茨城県土木工事施工管理基準」に基づいて施工管理を行い、工事完了後速やかに施工管理報告書を提出すること。

### 2. 工程管理

適宜監督員と協議を行いながら適正な工程管理を行うものとする。

### 3. 安全管理

(1) 工事中の安全管理については十分配慮するものとし、現場条件を考慮したものを具備するものとする。

(2) 本工事で設置した仮設物については、定期的に見回りを実施するとともに、破損箇所を発見した場合またその恐れがある場合は、速やかに補修を行い安全の確保に努めること。

### 4. 工事記録写真

(1) 「写真管理基準（案）」及び設計書に基づいて、各工種を測点毎に適切に撮影し、写真集に収めて、工事工程段階及び工事完了後提出する。

(2) その他必要と認められたもの、監督員に指示されたものは撮影を行うこと。

## 第9章 その他

## 1. 現場管理

- (1) 工事完了後、工事のため混入又は飛散した石れき、木片・樹根・番線・ビニール紐・水糸等の工事残材は速やかに除去しなければならない。
- (2) 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損又は汚れが生じた場合は、すみやかに監督員に協議し補修及び清掃をしなければならない。

## 第10章 疑義

本工事において、不明な点又は疑義が生じた場合には、監督員と協議うえ、その指示に従うこと。

# 工事数量総括（内訳）表

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
管路（補助費）			1	式		
管きょ工（開削）			1	式		
管路土工			1	式	管路掘削	110.000 m3
					管路砂埋戻（管上30cm迄）	23.000 m3
					管路発生土埋戻（管上30cm以上）	74.000 m3
					発生土処理	28.000 m3
管布設工			1	式	硬質塩化ビニル管	50.100 m
管基礎工			1	式	砂基礎（W=0.95m）	49.900 m
管路土留工			1	式	たて込み簡易土留	51.000 m
					簡易土留め材質料	1.000 式
マンホール工			1	式		
組立マンホール工			1	式	組立1号マンホール	1.000 箇所
取付管およびます工			1	式		
管路土工（柵）			1	式	管路掘削	2.000 m3
					管路埋戻	2.000 m3
ます設置工			1	式	ます	2.000 箇所
管路土工			1	式	管路掘削	4.000 m3
					管路砂埋戻（管上30cm迄）	1.000 m3
					管路発生土埋戻（管上30cm以上）	2.000 m3
					発生土処理	1.000 m3
取付管布設工			1	式	取付管	5.200 m
付帯工			1	式		
舗装撤去工			1	式	舗装版切断	100.000 m
					舗装版破碎	49.000 m2
					殻運搬処理	2.000 m3
舗装仮復旧工（県道歩道）			1	式	表層	33.000 m2
					路盤	33.000 m2



# 工事数量総括（内訳）表

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別	数量	単位	金額	細別内訳	数量	単位
舗装仮復旧工(出入口B)	1	式		表層	6.000	m2
				路盤	6.000	m2
舗装仮復旧工(市道車道)	1	式		表層	10.000	m2
				路盤	10.000	m2
本復旧舗装撤去工	1	式		舗装版切断	20.000	m
				舗装版破碎	207.000	m2
				殻運搬処理	8.000	m3
舗装復旧工(県道歩道)	1	式		表層	98.000	m2
舗装復旧工(出入口B)	1	式		表層	28.000	m2
舗装復旧工(市道車道)	1	式		表層	81.000	m2
区画線工	1	式		溶融式区画線	54.000	m
道路付属物撤去・復旧工	1	式		現場打ちL型街渠撤去	1.200	m
				現場打ちL型街渠復旧	1.200	m
処分費	1	式				
廃材処分費	1	式		廃材処分費	1.000	式
仮設工	1	式				
交通管理工	1	式		交通誘導警備員	20.000	人日
管路（単独費）	1	式				
管きょ工(開削)	1	式				
管路土工	1	式		管路掘削	390.000	m3
				管路砂埋戻（管上30cm迄）	87.000	m3
				管路発生土埋戻（管上30cm以上）	260.000	m3
				発生土処理	110.000	m3
管布設工	1	式		硬質塩化ビニル管	189.800	m
管基礎工	1	式		砂基礎（W=0.95m）	189.300	m

# 工事数量総括（内訳）表

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
管路土留工				式		たて込み簡易土留 192.500 m
			1			簡易土留め材賃料 1.000 式
マンホール工				式		
			1			
組立マンホール工				式		組立1号マンホール 3.000 箇所
			1			
取付管およびます工				式		
			1			
管路土工（柵）				式		管路掘削 5.000 m <sup>3</sup>
			1			管路埋戻 4.000 m <sup>3</sup>
ます設置工				式		ます 5.000 箇所
			1			
管路土工				式		管路掘削 10.000 m <sup>3</sup>
						管路砂埋戻（管上30cm迄） 3.000 m <sup>3</sup>
			1			管路発生土埋戻（管上30cm以上） 6.000 m <sup>3</sup>
						発生土処理 3.000 m <sup>3</sup>
取付管布設工				式		取付管 13.000 m
			1			
付帯工				式		
			1			
舗装撤去工				式		舗装版切断 390.000 m
						舗装版破碎 185.000 m <sup>2</sup>
			1			殻運搬処理 6.000 m <sup>3</sup>
舗装仮復旧工(県道歩道)				式		表層 166.000 m <sup>2</sup>
			1			路盤 166.000 m <sup>2</sup>
舗装仮復旧工(出入口B)				式		表層 17.000 m <sup>2</sup>
			1			路盤 17.000 m <sup>2</sup>
舗装仮復旧工(市道車道)				式		表層 2.000 m <sup>2</sup>
			1			路盤 2.000 m <sup>2</sup>
本復旧舗装撤去工				式		舗装版破碎 575.000 m <sup>2</sup>
			1			殻運搬処理 19.000 m <sup>3</sup>
舗装復旧工(県道歩道)				式		表層 491.000 m <sup>2</sup>
			1			
舗装復旧工(出入口B)				式		表層 83.000 m <sup>2</sup>
			1			
道路付属物撤去・復旧工				式		現場打ちL型街渠撤去 1.200 m
			1			現場打ちL型街渠復旧 1.200 m

# 工事数量総括（内訳）表

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
処分費						
			1	式		
廃材処分費						廃材処分費 1.000 式
			1	式		
仮設工						
			1	式		
交通管理工						交通誘導警備員 68.000 人日
			1	式		
直接工事費計						
			1	式		
共通仮設						
			1	式		
共通仮設費						
			1	式		
運搬費						仮設材運搬費（補助） 4.400 t
			1	式		
共通仮設費（率計上）						
			1	式		
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		
契約保証費用						
			1	式		
工事価格						
			1	式		
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
管路 (補助費)									
管きよ工 (開削)									
管路土工									
管路掘削					110.000	m3			
機械掘削工 (バックホウ) バックホウ規格 (排対 (2次) 山積 0.28m3 (平 0.2m3))					110.000	m3			第0001号代価表
管路砂埋戻 (管上30cm迄)					23.000	m3			
砂埋戻 (BH0.2)					23.000	m3			第0002号代価表
管路発生土埋戻 (管上30cm以上)					74.000	m3			
機械投入埋戻工 (バックホウ) バックホウ規格 (排対 (2次) 山積 0.28m3 (平 0.2m3)), タンパ締固め数量 (m3) (実数) (100 m3)					74.000	m3			第0003号代価表
発生土処理					28.000	m3			
発生土運搬工 (4t積級・2t積級) 機械積込み (L=0.5km) ダンプトラック規格 (ダンプトラック 4t積級), 運搬距離 (実数入力) (0.5 km), DID区間 (DID区間なし), バックホウ規格 (排対 (2次) 山積 0.28m3 (平 0.2m3)), タンパ損耗費 (良好)					28.000	m3			第0004号代価表
積込 (ルース) 土質 (土砂), 作業内容 (土量 50,000m3 未満)					28.000	m3			施工 P 第0005号代価表
土砂等運搬 (L=6.8km) 土砂等発生現場 (標準), 積込機種・規格 (バックホウ山積 0.8m3 (平積 0.6m3)), 土質 (土砂 (岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無 (無し), 運搬距離 (km) (DID区間無) (7.5km以下)					28.000	m3			施工 P 第0006号代価表
管布設工									

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				硬質塩化ビニル管	50.100	m			
				硬質塩化ビニル管設置工(市場単価) 規格・仕様(呼び径 200mm), 施工規模(20m 以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無) , 夜間作業補正(無)	50.100	m			第0007号代価表
				人孔用可とう継手 Φ200	2.000	個			
				管基礎工					
				砂基礎 (W=0.95m)	49.900	m			
				砂基礎 (市場単価・機械施工)	5.000	m <sup>3</sup>			第0008号代価表
				管路土留工					
				たて込み簡易土留	51.000	m			
				建込工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.5m以下)	51.000	m			第0009号代価表
				引抜工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.5m以下), クレーン賃料補正(標 準(1.0))	51.000	m			第0010号代価表
				簡易土留め材賃料	1.000	式			
				簡易土留め材賃料 (H=2.5m) 補 助	45.000	m <sup>2</sup>			第0011号代価表
				マンホール工					
				組立マンホール工					
				組立1号マンホール	1.000	箇所			
				組立マンホール設置工(市場単価) 規格・仕様(1号(900mm) 3m以下), 施工規模( 4箇所以上), 時間的制約を受ける場合の補 正(無), 夜間作業補正(無)	1.000	箇所			第0012号代価表

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				圧力開放型人孔鉄蓋(変形防止部材(ホルト含)付, 鍵付) φ600 T-14 勾配受H=110	1.000	個			
				転落防止はしご (φ600用) φ600	1.000	個			
				調整リング H=15cm、φ600	1.000	個			
				斜壁 (1号用) H=600mm	1.000	個			
				管取付壁 (躯体ブロック) 1号用 H=1500mm	1.000	個			
				底版 (1号用) H=130mm	1.000	個			
				削孔費 (0号・楕円・1号用) Φ200用	1.000	箇所			
				底部工 (1号用, 標準用)	1.000	箇所			第0013号代価表
				取付管およびます工					
				管路土工 (柾)					
				管路掘削	2.000	m3			
				床掘り (人力, 宅内) 土質(土砂), 施工方法(現場制約あり)	2.000	m3			施工P 第0014号代価表
				管路埋戻	2.000	m3			
				埋戻し (人力, 宅内) 施工方法(現場制約あり), 土質(土砂), 締固めの有無(有り)	2.000	m3			施工P 第0015号代価表
				ます設置工					
				ます	2.000	箇所			

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
ます設置工(塩化ビニル製)(市場単価) 防護蓋無 規格・仕様(ます径 200mm), 施工規模(5箇所以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 鋳鉄製防護蓋設置の有無(無)	1.000	箇所			第0016号代価表
ます設置工(塩化ビニル製)(市場単価) 防護蓋有り 規格・仕様(ます径 200mm), 施工規模(5箇所以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 鋳鉄製防護蓋設置の有無(有)	1.000	箇所			第0017号代価表
鋳鉄製防護蓋 (Φ200用, 簡易) T-8	1.000	組			
管路土工					
管路掘削	4.000	m3			
機械掘削工(小型バックホウ) 小型バックホウ規格(排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3))	4.000	m3			第0018号代価表
管路砂埋戻 (管上30cm迄)	1.000	m3			
砂埋戻 (BH0.1)	1.000	m3			第0019号代価表
管路発生土埋戻 (管上30cm以上)	2.000	m3			
機械投入埋戻工(小型バックホウ, 歩道部) 小型バックホウ規格(排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3)), タンパ締固め数量(m3) (実数) (100 m3)	1.000	m3			第0020号代価表
機械投入埋戻工(小型バックホウ, 宅内部) 小型バックホウ規格(排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3)), タンパ締固め数量(m3) (実数) (100 m3)	1.000	m3			第0020号代価表
発生土処理	1.000	m3			

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み(L=0.5km) ダンプトラック規格(ダンプトラック 2t積級), 運搬距離(実数入力)(0.5 km), DID区間(DID区間なし), バックホウ規格(小型(2次)山積0.13m3(平0.1m3)), タイヤ損耗費(良好)	1.000	m3			第0021号代価表
				積込(ルース) 土質(土砂), 作業内容(土量50,000m3未満)	1.000	m3			施工P 第0005号代価表
				土砂等運搬(L=6.8km) 土砂等発生現場(標準), 積込機種・規格(バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km)(DID区間無)(7.5km以下)	1.000	m3			施工P 第0006号代価表
				取付管布設工					
				取付管	5.200	m			
				取付管布設・支管取付工(市場単価) 3.0m<L 規格・仕様(管径 150mm), 施工規模(5箇所以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 取付管長3m未満の場合の補正(有), 取付管長5m以上12m未満の補正(無), 本管材質コンクリート製・陶製の補正(無)	2.000	箇所			第0022号代価表
				付帯工					
				舗装撤去工					
				舗装版切断	100.000	m			
				As舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版), アスファルト舗装版厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)	100.000	m			施工P 第0023号代価表
				舗装版破碎	49.000	m2			
				As舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	49.000	m2			施工P 第0024号代価表



# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
殻運搬処理					2.000	m3			
As殻運搬 (L=8.4km) 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無し) (11.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)					2.000	m3			施工P 第0025号代価表
舗装仮復旧工(県道歩道)									
表層					33.000	m2			
表層(再生粗粒, t=3cm) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(30 mm), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(無し), 費用の内訳(全ての費用)					33.000	m2			施工P 第0026号代価表
路盤					33.000	m2			
路盤(RC-40, t=10cm) 全仕上り厚(実数入力)(100 mm), 施工区分(1層施工), 材料(再生クラッシュレン RC-40), 費用の内訳(全ての費用)					33.000	m2			施工P 第0027号代価表
舗装仮復旧工(出入口B)									
表層					6.000	m2			
表層(再生粗粒, t=5cm) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(50 mm), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(無し), 費用の内訳(全ての費用)					6.000	m2			施工P 第0028号代価表
路盤					6.000	m2			
路盤(M-30, t=25cm) 全仕上り厚(実数入力)(250 mm), 施工区分(2層施工), 材料(粒度調整砕石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)					6.000	m2			施工P 第0029号代価表
舗装仮復旧工(市道車道)									

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
					10.000	m2			
				表層(再生粗粒, t=3cm, フライムコート無し) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(30 mm), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(無し), 費用の内訳(全ての費用)	10.000	m2			施工P 第0026号代価表
					10.000	m2			
				路盤(RC-40, t=22cm, 2層仕上) 全仕上り厚(実数入力)(220 mm), 施工区分(2層施工), 材料(再生クラッシュ RC-40), 費用の内訳(全ての費用)	10.000	m2			施工P 第0030号代価表
				舗装版切断	20.000	m			
				As舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版), アスファルト舗装版厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)	20.000	m			施工P 第0023号代価表
				舗装版破碎	207.000	m2			
				As舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	207.000	m2			施工P 第0024号代価表
				殻運搬処理	8.000	m3			
				As殻運搬(L=8.4km) 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要, 厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km)(DID区間無し)(11.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)	8.000	m3			施工P 第0025号代価表
				舗装復旧工(県道歩道)					
				表層	98.000	m2			

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
表層(再生細粒, t=3cm, フライムコート有り) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(30 mm), 材料(再生細粒度アスファルト混合物(13)), 瀝青材料種類(フライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)	98.000	m2			施工P 第0031号代価表
舗装復旧工(出入口B)					
表層	28.000	m2			
表層(再生密粒, t=5cm, , フライムコート有り) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(50 mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(フライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)	28.000	m2			施工P 第0032号代価表
舗装復旧工(市道車道)					
表層	81.000	m2			
表層(再生密粒, t=5cm, フライムコート有り) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(50 mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(タックコート PK-4), 費用の内訳(全ての費用)	81.000	m2			施工P 第0033号代価表
区画線工					
溶解式区画線	54.000	m			
区画線設置(実線 幅45cm 白色) 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(溶解式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(実線 45cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 溶解式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	52.000	m			第0034号代価表

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置（実線 幅15cm 白色） 夜間作業の有無（無し）、施工方法区分（熔融式手動）、豪雪補正の有無（無し）、規格・仕様区分（実線 15cm）、時間的制約の有無（無し）、塗布厚（1.5mm）、排水性舗装に施工する場合の補正（無し）、未供用区間の場合の補正（無し）、熔融式塗料規格（含有量15～18%）、塗料区分（白）、プライマー規格（アスファルト舗装）、費用の内訳（全ての費用）	2.000	m			第0035号代価表
道路付属物撤去・復旧工					
現場打ちL型街渠撤去	1.200	m			
構造物とりこわし 構造物区分（無筋構造物）、工法区分（人力施工）、時間的制約の有無（無し）、夜間作業の有無（無し）	0.144	m3			第0036号代価表
殻運搬（L=10.5km） 殻発生作業（Co（無筋・鉄筋）構造物とりこわし）、積込工法区分（人力積込）、DID区間の有無（無し）、運搬距離（km）（DID区間無）（11.0km以下）、費用の内訳（全ての費用）	0.144	m3			施工P 第0037号代価表
歩車道境界ブロック撤去（再利用） 再利用区分（再利用）	1.200	m			施工P 第0038号代価表
現場打ちL型街渠復旧	1.200	m			
コンクリート（F18-8-25-BB、水セメント比：60%以下） 構造物種別（小型構造物）、打設工法（人力打設）、コンクリート規格（18-8-25（高炉））、養生工の種類（一般養生）、現場内小運搬の有無（無し）、費用の内訳（全ての費用）	0.144	m3			施工P 第0039号代価表
型枠 型枠の種類（一般型枠）、構造物の種類（小型構造物）	0.372	m2			施工P 第0040号代価表
基礎砕石（RB-40、t=10cm） 砕石の厚さ（7.5cmを超え12.5cm以下）、砕石の種類（砕石（各種））、費用の内訳（全ての費用）	1.000	m2			施工P 第0041号代価表

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック (発生品再利用) 作業区分(再利用設置),ブロック規格(各種(600mm以下、50kg未満)),基礎砕石規格(無し),均し基礎コンクリート規格(無し)	1.200	m			施工P 第0042号代価表
処分費					
廃材処分費					
廃材処分費	1.000	式			
ストックヤード利用料金 発生土搬入	30.000	m <sup>3</sup>			
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	23.000	t			
コンクリート廃材処理費(中間処理施設) コンクリート塊(無筋) 30cm以下	0.300	t			
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	20.000	人日			
交通誘導警備員A	10.000	人日			第0043号代価表
交通誘導警備員B	10.000	人日			第0044号代価表
管路(単独費)					
管きょ工(開削)					
管路土工					
管路掘削	390.000	m <sup>3</sup>			

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
機械掘削工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3))		m3			第0001号代価表
	390.000				
管路砂埋戻 (管上30cm迄)		m3			
	87.000				
砂埋戻 (BH0.2)		m 3			第0002号代価表
	87.000				
管路発生土埋戻 (管上30cm以上)		m3			
	260.000				
機械投入埋戻工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タンパ締め数量(m3)(実数)(100 m3)		m3			第0003号代価表
	260.000				
発生土処理		m3			
	110.000				
発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み(L=0.5km) ダンプトラック規格(ダンプトラック 4t積級),運搬距離(実数入力)(0.5 km),DID区間(DID区間なし),バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タイヤ損耗費(良好)		m3			第0004号代価表
	110.000				
積込(ルーズ) 土質(土砂),作業内容(土量50,000m3未満)		m3			施工P 第0005号代価表
	110.000				
土砂等運搬(L=6.8km) 土砂等発生現場(標準),積込機種・規格(バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)),土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(7.5km以下)		m3			施工P 第0006号代価表
	110.000				
管布設工					
硬質塩化ビニル管		m			
	189.800				
硬質塩化ビニル管設置工(市場単価) 規格・仕様(呼び径 200mm),施工規模(20m以上),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業補正(無)		m			第0007号代価表
	189.900				
人孔用可とう継手 Φ200		個			
	6.000				

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
管基礎工					
砂基礎 (W=0.95m)	189.300	m			
砂基礎 (市場単価・機械施工)	18.000	m <sup>3</sup>			第0008号代価表
管路土留工					
たて込み簡易土留	192.500	m			
建込工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.0m以下)	71.000	m			第0045号代価表
建込工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.5m以下)	121.500	m			第0009号代価表
引抜工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.0m以下), クレーン賃料補正(標準(1.0))	71.000	m			第0046号代価表
引抜工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.5m以下), クレーン賃料補正(標準(1.0))	121.500	m			第0010号代価表
簡易土留め材賃料	1.000	式			
簡易土留め材賃料 (H=2.0m) 単独	36.000	m <sup>2</sup>			第0047号代価表
簡易土留め材賃料 (H=2.5m) 単独	45.000	m <sup>2</sup>			第0048号代価表
マンホール工					
組立マンホール工					
組立1号マンホール	3.000	箇所			
組立マンホール設置工(市場単価) 規格・仕様(1号(900mm) 3m以下), 施工規模(4箇所以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)	3.000	箇所			第0012号代価表

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				圧力開放型人孔鉄蓋(変形防止部材(ホルト含)付, 鍵付) φ600 T-14 勾配受H=110	3.000	個			
				転落防止はしご (φ600用) φ600	2.000	個			
				調整リング H=10cm、φ600	4.000	個			
				調整リング H=15cm、φ600	1.000	個			
				斜壁 (1号用) H=600mm	3.000	個			
				管取付壁 (躯体ブロック) 1号用 H=900mm	1.000	個			
				管取付壁 (躯体ブロック) 1号用 H=1500mm	2.000	個			
				底版 (1号用) H=130mm	3.000	個			
				削孔費 (0号・楕円・1号用) Φ200用	3.000	箇所			
				底部工 (1号用, 標準用)	3.000	箇所			第0013号代価表
				取付管およびます工					
				管路土工 (桧)					
				管路掘削	5.000	m3			
				床掘り (人力, 宅内) 土質(土砂), 施工方法(現場制約あり)	5.000	m3			施工P 第0014号代価表
				管路埋戻	4.000	m3			
				埋戻し (人力, 宅内) 施工方法(現場制約あり), 土質(土砂), 締固めの有無(有り)	4.000	m3			施工P 第0015号代価表
				ます設置工					



# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
					5.000	箇所			
					3.000	箇所			第0016号代価表
					2.000	箇所			第0017号代価表
					2.000	組			
					10.000	m3			
					10.000	m3			第0018号代価表
					3.000	m3			
					3.000	m3			第0019号代価表
					6.000	m3			
					3.000	m3			第0020号代価表
					3.000	m3			第0020号代価表

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
					3.000	m3			
					3.000	m3			第0021号代価表
					3.000	m3			施工P 第0005号代価表
					3.000	m3			施工P 第0006号代価表
					13.000	m			
					5.000	箇所			第0022号代価表
					390.000	m			
					390.000	m			施工P 第0023号代価表
					185.000	m2			

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
As舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	185.000	m2			施工P 第0024号代価表
殻運搬処理	6.000	m3			
As殻運搬 (L=10.5km) 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無し) (11.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)	6.000	m3			施工P 第0025号代価表
舗装仮復旧工(県道歩道)					
表層	166.000	m2			
表層(再生粗粒, t=3cm) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(30 mm), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(無し), 費用の内訳(全ての費用)	166.000	m2			施工P 第0026号代価表
路盤	166.000	m2			
路盤(RC-40, t=10cm) 全仕上り厚(実数入力)(100 mm), 施工区分(1層施工), 材料(再生クラッシュ RC-40), 費用の内訳(全ての費用)	166.000	m2			施工P 第0027号代価表
舗装仮復旧工(出入口B)					
表層	17.000	m2			
表層(再生粗粒, t=5cm) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(50 mm), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(無し), 費用の内訳(全ての費用)	17.000	m2			施工P 第0028号代価表
路盤	17.000	m2			

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
路盤 (M-30, t=25cm) 全仕上り厚 (実数入力) (250 mm), 施工区 分 (2層施工), 材料 (粒度調整碎石 M-30), 費 用の内訳 (全ての費用)	17.000	m2			施工P 第0029号代価表
舗装復旧工 (市道車道)					
表層	2.000	m2			
表層 (再生粗粒, t=3cm, プライムコート 無し) 平均幅員 (1.4m未満 (仕上厚50mm以下)), 1 層当平均仕上厚 50mm以下 (30 mm), 材料 (再 生粗粒度アスファルト混合物 (20)), 瀝青材料種 類 (無し), 費用の内訳 (全ての費用)	2.000	m2			施工P 第0026号代価表
路盤	2.000	m2			
路盤 (RC-40, t=22cm, 2層仕上) 全仕上り厚 (実数入力) (220 mm), 施工区 分 (2層施工), 材料 (再生クラッシュラン RC-40), 費 用の内訳 (全ての費用)	2.000	m2			施工P 第0030号代価表
本復旧舗装撤去工					
舗装版破碎	575.000	m2			
As舗装版破碎 舗装版種別 (アスファルト舗装版), 障害等の有無 (無 し), 騒音振動対策 (不要), 舗装版厚 (15cm 以下), 積込作業の有無 (有り), 費用の内訳 (全 ての費用)	575.000	m2			施工P 第0024号代価表
殻運搬処理	19.000	m3			
As殻運搬 (L=8.4km) 殻発生作業 (舗装版破碎), 積込工法区分 (機 械 (騒音対策不要, 厚15cm以下)), DID区間 の有無 (無し), 運搬距離 (km) (DID区間無 ) (11.5km以下), 費用の内訳 (全ての費用)	19.000	m3			施工P 第0025号代価表
舗装復旧工 (県道歩道)					
表層	491.000	m2			

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
表層(再生細粒, t=3cm, プライムコート有り) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(30 mm), 材料(再生細粒度アスファルト混合物(13)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)	491.000	m2			施工P 第0031号代価表
舗装復旧工(出入口B)					
表層	83.000	m2			
表層(再生密粒, t=5cm, , プライムコート有り) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(50 mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)	83.000	m2			施工P 第0032号代価表
道路付属物撤去・復旧工					
現場打ちL型街渠撤去	1.200	m			
構造物とりこわし 構造物区分(無筋構造物), 工法区分(人力施工), 時間的制約の有無(無し), 夜間作業の有無(無し)	0.144	m3			第0036号代価表
殻運搬 (L=10.5km) 殻発生作業(Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし), 積込工法区分(人力積込), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無)(11.0km以下), 費用の内訳(全ての費用)	0.144	m3			施工P 第0037号代価表
歩車道境界ブロック撤去(再利用) 再利用区分(再利用)	1.200	m			施工P 第0038号代価表
現場打ちL型街渠復旧	1.200	m			
コンクリート (F18-8-25-BB, 水セメント比: 60%以下) 構造物種別(小型構造物), 打設工法(人力打設), コンクリート規格(18-8-25(高炉)), 養生工の種類(一般養生), 現場内小運搬の有無(無し), 費用の内訳(全ての費用)	0.144	m3			施工P 第0039号代価表

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
型枠 型枠の種類(一般型枠), 構造物の種類(小型 構造物)	0.372	m <sup>2</sup>			施工P 第0040号代価表
基礎砕石 (RB-40, t=10cm) 砕石の厚さ(7.5cmを超え12.5cm以下), 砕石 の種類(砕石(各種)), 費用の内訳(全ての 費用)	1.000	m <sup>2</sup>			施工P 第0041号代価表
歩車道境界ブロック(発生品再利用) 作業区分(再利用設置), ブロック規格(各種(6 00mm以下, 50kg未満)), 基礎砕石規格(無し) , 均し基礎コンクリート規格(無し)	1.200	m			施工P 第0042号代価表
処分費					
廃材処分費					
廃材処分費	1.000	式			
ストックヤード利用料金 発生土搬入	110.000	m <sup>3</sup>			
アスファルト廃材処理費(中間処 理施設) 掘削材 40cm以下	54.000	t			
コンクリート廃材処理費(中間処 理施設) コンクリート塊(無筋) 30cm以下	0.300	t			
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	68.000	人日			
交通誘導警備員A	34.000	人日			第0043号代価表
交通誘導警備員B	34.000	人日			第0044号代価表
直接工事費計					

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
共通仮設					
共通仮設費					
運搬費					
仮設材運搬費（補助）	4.400	t			
仮設材等の運搬（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）：往路 片道運搬距離（実数入力）（17.7 km），製品長区分（12m以内），運搬割増率（各種（実数入力）），運搬割増率（実数入力）（0），その他の諸料金の有無（無）	4.400	t			第0049号代価表
仮設材等の運搬（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）：復路 片道運搬距離（実数入力）（17.7 km），製品長区分（12m以内），運搬割増率（各種（実数入力）），運搬割増率（実数入力）（0），その他の諸料金の有無（無）	4.400	t			第0049号代価表
仮設材等の積込み取卸し費 作業区分（積込み、取卸し（往復分））	4.400	t			第0050号代価表
共通仮設費（率計上）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
契約保証費用					
工事価格					

# 本工事費内訳書

第 02-05-225-T-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
消費税相当額									
請負工事費									



第 0001 号 代価表 機械掘削工(バックホ)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	バックホ規格	1	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 0002 号 代価表 砂埋戻 (BH0.2)

第 02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.330	m3			
機械投入埋戻工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タン バ締固め数量(m3)(実数)(100 m3)	1.000	m3			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0003 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 バックホ規格	1	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)
J 0 2 タンパ締固め数量(m3) (実数)	100	100 m3

第 0004 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[オロード・ティール]4t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 ダンプトラック規格		1		ダンプトラック 4t積級	
J 0 2 運搬距離 (実数入力)		0.5		0.5 km	
J 0 3 DID区間		1		DID区間なし	
J 0 4 バック杓規格		3		排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	
J 0 5 タイヤ損耗費		2		良好	

第 0005 号 代価表 積込(ルース)

施工P(機44.75%, 労37.76%, 材17.49%, 市0.00%)

第02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.8m <sup>3</sup>	44.750	%			K1
運転手(特殊)	37.760	%			R1
軽油 1.2号	17.490	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質	1	土砂
J02 作業内容	1	土量50,000m <sup>3</sup> 未満

第 0006 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)

第02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 土砂等発生現場	1	標準
J02 積込機種・規格	1	バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3)
J03 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J04 DID区間の有無	1	無し
J05 運搬距離 (km) (DID区間無)	10	7.5km以下

第 0007 号 代価表 硬質塩化ビニル管設置工(市場単価)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工(材工共) 呼び径200mm	1.000	m			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		2		呼び径 200mm	
J 0 2 施工規模		1		20m以上	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	

第 0008 号 代価表 砂基礎 (市場単価・機械施工)

第 02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.260	m3			
砂基礎設置工(機械施工)(市場単価) 施工規模(10m3以上),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業補正(無)	1.000	m3			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称



第 0009 号 代価表 建込工(たて込み簡易土留)

第 02-05-225-T-002号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ[クローラ]排対(2次)山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )		時間			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 掘削深	入力値 3	入力名称 掘削深2.5m以下
-------	-------------	----------	-------------------

第 0010 号 代価表 引抜工(たて込み簡易土留)

第 02-05-225-T-002号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	掘削深	3	掘削深2.5m以下
J 0 2	クレーン賃料補正	1	標準 (1.0)

第 0011 号 代価表 簡易土留め材賃料 (H=2.5m) 補助

第 02-05-225-T-002号

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
簡易土留め材賃料 H=2.5m		日			
簡易土留め材整備費 H=3.5m以下	1.000	m <sup>2</sup>			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0012 号 代価表 組立マンホール設置工(市場単価)

第 02-05-225-T-002号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工 1号(900mm) 3m以下	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		4		1号(900mm) 3m以下	
J 0 2 施工規模		1		4箇所以上	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	

第 0013 号 代価表 底部工 (1号用, 標準用)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000

箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
コンクリート (F18-8-25BB、W/C比指定無し) 構造物種別 (無筋・鉄筋構造物), 打設工法 (人力打設), コンクリート規格 (18-8-25 (高炉)), 養生工の種類 (養生 無し), 現場内小運搬の有無 (無し), 費用の内訳 (全て の費用)	0.158	m <sup>3</sup>			施工 P
モルタル上塗工マンホール用 配合比 (配合比 1 : 2), モルタル厚さ (10~30mm) (実数 入力) (20 mm), セメント種類 (普通)	0.739	m <sup>2</sup>			
再生クラッシャーラン RB-40	0.230	m <sup>3</sup>			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0014 号 代価表 床掘り

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)

第02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	100.000	%			R1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土質	1	土砂
J 0 2 施工方法	6	現場制約あり

第 0015 号 代価表 埋戻し

施工P(機0.31%, 労99.38%, 材0.31%, 市0.00%)

第02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.310	%			K1
普通作業員	88.140	%			R1
特殊作業員	11.240	%			R2
ガソリン レギュラー	0.310	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 施工方法	6	現場制約あり
J02 土質	1	土砂
J03 締固めの有無	1	有り

第 0016 号 代価表 ます設置工(塩化ビニル製)(市場単価)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
塩化ビニル製ます設置工(材工共) ます(径200)	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		2		ます径 200mm	
J 0 2 施工規模		1		5箇所以上	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	
J 0 5 鋳鉄製防護蓋設置の有無		2		無	



第 0017 号 代価表 ます設置工(塩化ビニル製)(市場単価)

第 02-05-225-T-002号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
塩化ビニル製ます設置工(材工共) ます(径200)	1.000	箇所			
塩化ビニル製ます設置工 加算額 鋳鉄製防護蓋設置費(手間のみ)	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 規格・仕様	2	ます径 200mm
J 0 2 施工規模	1	5箇所以上
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正	2	無
J 0 4 夜間作業補正	2	無
J 0 5 鋳鉄製防護蓋設置の有無	1	有

第 0018 号 代価表 機械掘削工(小型バックホ)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホ運転[カラー型](2次)山積0.13m3(平積0.1m3)		日			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 小型バックホ規格	2	排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3)

第 0019 号 代価表 砂埋戻 (BH0.1)

第 02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.330	m <sup>3</sup>			
機械投入埋戻工(小型バックホ) 小型バックホ規格(排対(2次)山積0.13m <sup>3</sup> (平0.1m <sup>3</sup> )), タンパ締固め数量(m <sup>3</sup> ) (実数) (100 m <sup>3</sup> )	1.000	m <sup>3</sup>			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0020 号 代価表 機械投入埋戻工(小型バックホ)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホ運転[コーラ型](2次)山積0.13m3(平積0.1m3)		日			
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 小型バックホ規格	2	排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3)
J 0 2 タンパ締固め数量(m3)(実数)	100	100 m3

第 0021 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[ホロード・テイエール]2t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 ダンプトラック規格		2		ダンプトラック 2t積級	
J 0 2 運搬距離 (実数入力)		0.5		0.5 km	
J 0 3 DID区間		1		DID区間なし	
J 0 4 バック杓規格		4		小型(2次)山積0.13m3(平0.1m3)	
J 0 5 タイヤ損耗費		2		良好	

第 0022 号 代価表 取付管布設および支管取付工(市場単価)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
取付管布設及び支管取付工(材工共) 管径150	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		3		管径 150mm	
J 0 2 施工規模		1		5箇所以上	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	
J 0 5 取付管長3m未満の場合の補正		1		有	
J 0 6 取付管長5m以上12m未満の補正		2		無	
J 0 7 本管材質コンクリート製・陶製の補正		2		無	

第 0023 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.42%, 労53.37%, 材40.21%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.340	%			K1
特殊作業員	18.480	%			R1
世話役	9.590	%			R2
普通作業員	8.000	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	37.360	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.930	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J 0 5 費用の内訳	1	全ての費用

第 0024 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機10.10%, 労81.87%, 材8.03%, 市0.00%)

第02-05-225-T-002号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	10.100	%			K1
世話役	29.500	%			R1
運転手(特殊)	27.770	%			R2
普通作業員	24.600	%			R3
軽油 1.2号	8.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	4	15cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用



第 0025 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 0 運搬距離 (km) (DID区間無)	5	11.5km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0026 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.55%, 労48.92%, 材50.53%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.420	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.100	%			K2
特殊作業員	21.450	%			R1
普通作業員	18.680	%			R2
世話役	5.590	%			R3
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20)	50.400	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.080	%			Z2
軽油 1.2号	0.050	%			Z3
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 平均幅員	1	1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
J 0 2 1層当平均仕上厚 50mm以下	30	30 mm
J 0 5 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物 (20)
J 0 6 瀝青材料種類	5	無し
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用

第 0027 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.39%, 労69.63%, 材23.98%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	3.310	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.900	%			K2
普通作業員	29.260	%			R1
運転手(特殊)	24.600	%			R2
特殊作業員	13.750	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	22.040	%			Z1
軽油 1.2号	1.890	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 全仕上り厚(実数入力)	100	100 mm
J 0 2 施工区分	1	1層施工
J 0 3 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

第 0028 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.55%, 労48.92%, 材50.53%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6 t	0.420	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60 kg	0.100	%			K2
特殊作業員	21.450	%			R1
普通作業員	18.680	%			R2
世話役	5.590	%			R3
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20)	50.400	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.080	%			Z2
軽油 1.2号	0.050	%			Z3
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 平均幅員	1	1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
J 0 2 1層当平均仕上厚 50mm以下	50	50 mm
J 0 5 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物 (20)
J 0 6 瀝青材料種類	5	無し
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用

第 0029 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機5.46%, 労59.52%, 材35.02%, 市0.00%)

第 02-05-225-T-002号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.830	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.480	%			K2
普通作業員	25.020	%			R1
運転手(特殊)	21.020	%			R2
特殊作業員	11.750	%			R3
粒度調整碎石 M-30	33.360	%			Z1
軽油 1.2号	1.620	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 全仕上り厚(実数入力)	250	250 mm
J02 施工区分	2	2層施工
J03 材料	5	粒度調整碎石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0030 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.05%, 労66.00%, 材27.95%, 市0.00%)

第 02-05-225-T-002号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	3.130	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.750	%			K2
普通作業員	27.740	%			R1
運転手(特殊)	23.310	%			R2
特殊作業員	13.030	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	26.110	%			Z1
軽油 1.2号	1.790	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 全仕上り厚(実数入力)	220	220 mm
J02 施工区分	2	2層施工
J03 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0031 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.51%, 労46.11%, 材53.38%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.350	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.080	%			K2
特殊作業員	18.180	%			R1
普通作業員	15.830	%			R2
世話役	4.740	%			R3
再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物(13)	47.790	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.460	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.070	%			Z3
軽油 1.2号	0.040	%			Z4
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 平均幅員	1	1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
J 0 2 1層当平均仕上厚 50mm以下	30	30 mm
J 0 5 材料	18	再生細粒度アスファルト混合物 (13)
J 0 6 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用

第 0032 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.54%, 労48.56%, 材50.90%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.370	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.090	%			K2
特殊作業員	19.150	%			R1
普通作業員	16.670	%			R2
世話役	4.990	%			R3
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(20)	45.020	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.750	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.070	%			Z3
軽油 1.2号	0.040	%			Z4
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満(仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	50	50 mm
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用



第 0033 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.57%, 労50.53%, 材48.90%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6 t	0.390	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60 kg	0.090	%			K2
特殊作業員	19.950	%			R1
普通作業員	17.330	%			R2
世話役	5.190	%			R3
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(20)	46.720	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.040	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.080	%			Z3
軽油 1.2号	0.040	%			Z4
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 平均幅員	1	1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
J 0 2 1層当平均仕上厚 50mm以下	50	50 mm
J 0 5 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)
J 0 6 瀝青材料種類	1	タックコート PK-4
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用

第 0034 号 代価表 区画線設置

第 02-05-225-T-002号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 実線45cm 制約無	1,000.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	1,700.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	75.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	75.000	kg			
軽油 1.2号	80.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 夜間作業の有無	1	無し
J02 施工方法区分	1	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	1	無し
J04 規格・仕様区分	4	実線 45cm
J05 時間的制約の有無	1	無し
J06 塗布厚	1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J11 塗料区分	1	白
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	1	全ての費用

第 0035 号 代価表 区画線設置

第 02-05-225-T-002号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	1,000.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	570.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	25.000	kg			
軽油 1.2号	44.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 夜間作業の有無	1	無し
J02 施工方法区分	1	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	1	無し
J04 規格・仕様区分	1	実線 15cm
J05 時間的制約の有無	1	無し
J06 塗布厚	1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J11 塗料区分	1	白
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	1	全ての費用

第 0036 号 代価表 構造物とりこわし

第 02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
無筋構造物 昼間 人力施工 制約無	1.000	m3			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J01 構造物区分		1		無筋構造物	
J02 工法区分		2		人力施工	
J03 時間的制約の有無		1		無し	
J04 夜間作業の有無		1		無し	

第 0037 号 代価表 殻運搬

施工P(機20.84%, 労70.18%, 材8.98%, 市0.00%)

第02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	20.840	%			K1
運転手 (一般)	70.180	%			R1
軽油 1. 2号	8.980	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	1	Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし
J 0 2 積込工法区分	2	人力積込
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 0 6 運搬距離 (km) (DID区間無)	11	11.0km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0038 号 代価表 歩車道境界ブロック撤去

施工P(機4.91%, 労93.48%, 材1.61%, 市0.00%)

第02-05-225-T-002号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [超小旋回型] 山積0.22m <sup>3</sup> (平積0.16m <sup>3</sup> )	4.910	%			K1
普通作業員	29.670	%			R1
ブロック工	18.190	%			R2
世話役	17.750	%			R3
運転手(特殊)	16.730	%			R4
軽油 1.2号	1.610	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

J01 条件名称  
再利用区分

入力値  
2

入力名称  
再利用

第 0039 号 代価表 コンクリート

施工P(機0.00%, 労44.60%, 材55.40%, 市0.00%)

第02-05-225-T-002号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	25.350	%			R1
特殊作業員	8.710	%			R2
世話役	8.270	%			R3
生コンクリート (水セメント比: 指定無し) 18-8-25 (20) 高炉	55.400	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物種別	2	小型構造物
J 0 2 打設工法	4	人力打設
J 0 3 コンクリート規格	41	18-8-25 (高炉)
J 0 5 養生工の種類	2	一般養生
J 0 7 現場内小運搬の有無	2	無し
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0040 号 代価表 型枠

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
型枠工	45.500	%			R1
普通作業員	30.090	%			R2
世話役	11.370	%			R3
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 型枠の種類	1	一般型枠
J 0 2 構造物の種類	2	小型構造物



第 0041 号 代価表 基礎砕石

施工P(機4.78%, 労77.15%, 材18.07%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	4.750	%			K1
普通作業員	40.160	%			R1
特殊作業員	17.480	%			R2
世話役	9.930	%			R3
運転手 (特殊)	9.050	%			R4
再生砕石 (RB-40)	15.280	%			Z1
軽油 1.2号	2.780	%			Z2
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 砕石の厚さ	2	7.5cmを超え12.5cm以下
J 0 2 砕石の種類	10	砕石 (各種)
J 0 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0042 号 代価表 歩車道境界ブロック

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)

第02-05-225-T-002号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	44.680	%			R1
世話役	26.760	%			R2
特殊作業員	25.650	%			R3
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	2	再利用設置
J 0 2 ブロック規格	4	各種 (600mm以下、50kg未満)
J 0 4 基礎砕石規格	4	無し
J 0 5 均し基礎コンクリート規格	6	無し

第 0043 号 代価表 交通誘導警備員A

第 02-05-225-T-002号

1.000 人日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員A	1.000	人			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0044 号 代価表 交通誘導警備員B

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 人日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	1.000	人			
合計					
			単位当り		
条件名称	入力値	入力名称			

第 0045 号 代価表 建込工(たて込み簡易土留)

第 02-05-225-T-002号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ[クローラ]排対(2次)山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )		時間			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 掘削深	入力値 2	入力名称 掘削深2.0m以下
-------	-------------	----------	-------------------

第 0046 号 代価表 引抜工(たて込み簡易土留)

第 02-05-225-T-002号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	掘削深	2	掘削深2.0m以下
J 0 2	クレーン賃料補正	1	標準 (1.0)

第 0047 号 代価表 簡易土留め材賃料 (H=2.0m) 単独

第 02-05-225-T-002号

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
簡易土留め材賃料 H=2.0m		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0048 号 代価表 簡易土留め材賃料 (H=2.5m) 単独

第 02-05-225-T-002号

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
簡易土留め材賃料 H=2.5m		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称



第 0049 号 代価表 仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

第 0 2 - 0 5 - 2 2 5 - T - 0 0 2 号

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
基本運賃 製品長12m以内 20kmまで	1.000	t			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 片道運搬距離 (実数入力)		17.7		17.7 km	
J 0 2 製品長区分		1		12m以内	
J 0 3 運搬割増率		4		各種 (実数入力)	
J 0 4 運搬割増率 (実数入力)		0		0	
J 0 5 その他の諸料金の有無		2		無	

第 0050 号 代価表 仮設材等の積込み取卸し費

第 02-05-225-T-002号

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
積込み. 取卸し費 (仮設材等)	2.000	t			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 作業区分	入力値 4	入力名称 積込み、取卸し (往復分)		

令和2年度

R元国補・R2市単公下合併第1号工事

数 量 計 算 書

補助

茨城県石岡市都市建設部下水道課



数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量
	管路土留工					
		たて込み簡易土留	素掘り	m		
			H=2.00m	m		
			H=2.50m	m	51.0	51.00
			H=3.00m	m		
			H=3.50m	m		
			H=4.00m	m		
			H=4.50m	m		
			H=5.00m	m		
マンホール工	組立マンホール工					
	組立1号マンホール			箇所	1	1
		マンホール材料		式		
		マンホール蓋	T-14 φ600	組	1	1
			T-25 φ600	組		
		転落防止はしご	φ600用	組	1	1
		調整モルタル		m <sup>3</sup>	0.011	0.0113
			0.011×1875kg/m <sup>3</sup>	Kg	20.63	
		調整リング	50mm φ600	個		
			100mm φ600	個		
			150mm φ600	個	1	1
		斜壁ブロック	H=300	個		
			H=450	個		
			H=600	個	1	1
		直壁ブロック	H=300	個		
			H=600	個		
			H=900	個		
			H=1200	個		
			H=1500	個		
			H=1800	個		
		躯体ブロック	H=600	個		
			H=900	個		
			H=1200	個		
			H=1500	個	1	1
			H=1800	個		
		底版ブロック	H=130	個	1	1
		削孔工	φ100mm	箇所		
			φ150mm	箇所		
			φ200mm	箇所	1	1

数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量
		底部工				
		(標準)	有り	箇所	1	1
			無し	箇所		
			インバートコンクリート	m <sup>3</sup> /箇所	0.16	0.16
			モルタル上塗り工	m <sup>2</sup> /箇所	0.74	0.74
			砕石基礎工 RB-40	m <sup>3</sup> /箇所	0.23	0.23
		ブロック据付工				
			3m以下	箇所	1	1
			3m超4m以下	箇所		
			4m超5m以下	箇所		
取付管						
及びます工	土工(桝)					
		掘削	人力	m <sup>3</sup>	2	1.99
		埋戻(発生土)	人力	m <sup>3</sup>	2	1.88
		桝基礎(砂)	人力	m <sup>3</sup>	1	0.06
	土工(取付管)			m <sup>3</sup>		
		掘削	山積Q=0.13m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	4	4.14
		埋戻(発生土)	合計	m <sup>3</sup>	2	
			山積Q=0.13m <sup>3</sup> 、道路部	m <sup>3</sup>	1	1.34
			山積Q=0.13m <sup>3</sup> 、宅内部	m <sup>3</sup>	1	1.22
		埋戻(砂)	管下～管上30cm	m <sup>3</sup>	1	1.10
		管基礎(砂)	山積Q=0.13m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.24	0.24
		発生土処理	合計	m <sup>3</sup>	1	
			桝	m <sup>3</sup>	-0.17	-0.17
			取付管	m <sup>3</sup>	1	1.30
	ます設置工					
		小口径塩ビ製ます	3方向流入縦型 φ200-φ150	個		
			3方向流入横型 φ200-φ150	個	2	2
		プレーンエンド直管	VUφ150	本		
			VUφ200	本	2.34	2.34
		汚水ます蓋	塩ビ製T-2	個	1	1
			鋳鉄製防護蓋T-8	個	1	1







数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量
		排水構造物設置工	設置工	m	1.2	1.20
			コンクリート工	m <sup>3</sup> /10m	1.2	1.198
			型枠工	m <sup>2</sup> /10m	3.1	3.10
			歩車道境界ブロック(現場発成品)	個/10m	16.5	16.50
			碎石基礎	m <sup>2</sup> /10m	8.5	8.50
	処分費	ストックヤード利用				
		残土	DT4t	m <sup>3</sup>	30	29.46
		28.33+0+-0.17+1.3=29.46				
		Asガラ	DT10t	t	23.0	22.71
		3.99+0.04+18.68=22.71				
		Coガラ	無筋	t	0.3	0.34
	安全対策費		交通誘導員A	人	10	
			交通誘導員B	人	10	

## 塩ビ管材料計算書

路線番号	人孔番号	人孔種別	人孔による減長	路線延長 m	人孔控除 m	管体延長 m	人孔用砂付短管			直管部延長	本数	片受直管 ゴム輪受口 4.0m/本	可とう 継手	摘要
	上流	上流	上流				(差口)	(受口)	副管(受口)					
	下流	下流	下流				0.50m/本	0.50m/本	1.00m/本					
5049	5049-1	1号	0.450	10.50	0.45	10.05				10.05	3		1	市道車道
	5049-1+10.50													
5049	5049-1+10.50			29.00		29.00				29.00	8			県道歩道
	5049-1+39.50													
5049	5049-1+39.50			6.00		6.00				6.00	2			出入口B
	5049-1+45.50													
5049	5049-1+45.50			5.50	0.45	5.05				5.05	2	1	1	県道歩道
	5246-2-1	1号	0.450											
合計				51.00	昼間 夜間	50.10				50.10	13		2	

管渠土工計算書

路線番号	人孔番号	人孔種別	平均掘削深 H	掘削幅 B	路線延長 L	人孔等による減長 (m)	管体延長 L1 (m)	基礎減長 上流 下流 (m)	基礎延長 L2 (m)	土 工										基礎工			
										機械掘削		舗装種別	管控除面積 (m <sup>2</sup> )	埋 戻 し						残土		砂基礎	
										BH 0.28m <sup>3</sup> V1	BH 0.45m <sup>3</sup> V1			管下～管上30cm			管上30cm～路盤下			0.28m <sup>3</sup>	0.45m <sup>3</sup>	管下10cm	
										(m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> )			埋戻高 (m)	0.28m <sup>3</sup> V4	0.45m <sup>3</sup> V4	埋戻高 (m)	0.28m <sup>3</sup> V3	0.45m <sup>3</sup> V3			0.28m <sup>3</sup> V6	0.45m <sup>3</sup> V6
5049	5049-1 5049-1+10.50	1号	2.32	0.95	10.50	0.45	10.05	0.53	9.97	22.64		市道車道	0.037	0.516	4.76		1.45	14.50		6.53		0.95	
5049	5049-1+10.50 5049-1+39.50		2.32	0.95	29.00		29.00		29.00	63.09		県道歩道	0.037	0.516	13.14		1.57	43.36		14.91		2.76	
5049	5049-1+39.50 5049-1+45.50		2.32	0.95	6.00		6.00		6.00	12.94		出入口B	0.037	0.516	2.72		1.40	8.00		4.05		0.57	
5049	5049-1+45.50 5246-2-1	1号	2.32	0.95	5.50	0.45	5.05	0.53	4.97	11.97		県道歩道	0.037	0.516	2.49		1.57	8.22		2.84		0.47	
合計	夜間 昼間				51.00		50.10		49.94	110.64					23.11		発生土	74.08		28.33		4.75	

山 留 工 計 算 書

路線番号	人孔番号	掘平 削深均	掘削幅	路線延長 L	軽量鋼矢板工法			素掘り 全面	建込み簡易土留め工法						備考
					H=3.00m 全面	H=3.50m 全面	H=4.00 全面		H=2.00m 全面	H=2.50m 全面	H=3.00m 全面	H=3.50m 全面	H=4.00m 全面	H=4.50m 全面	
	上流	H,H'	B	支保工2段	支保工2段	支保工3段	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
5049	5049-1 5049-1+10.50	2.32	0.95	10.50						10.50					
5049	5049-1+10.50 5049-1+39.50	2.32	0.95	29.00						29.00					
5049	5049-1+39.50 5049-1+45.50	2.32	0.95	6.00						6.00					
5049	5049-1+45.50 5246-2-1	2.32	0.95	5.50						5.50					
合計		平均 2.32		51.00			昼間 夜間			51.00					

仮設材別集計表

路線番号	人孔番号	平均掘削深	掘削幅	路線延長	建込み簡易土留め工法					建込み簡易土留め工法 機械掘削					建込み簡易土留め工法 管基礎工					建込み簡易土留め工法 埋戻(管上30cm~管下)					建込み簡易土留め工法 埋戻(路盤下~管上30cm)					建込み簡易土留め工法 基礎延長							
					H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5			
	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)							
5049	5049-1	2.32	0.95	10.50			10.50					22.64					0.95								4.76												10.05
5049	5049-1+10.50	2.32	0.95	29.00			29.00					63.09					2.76								13.14											29.00	
5049	5049-1+39.50	2.32	0.95	6.00			6.00					12.94					0.57								2.72											6.00	
5049	5049-1+45.50	2.32	0.95	5.50			5.50					11.97					0.47								2.49											5.05	
合計		平均 2.32		51.00			51.00					110.64					4.75								23.11											50.10	
V U				51.00			51.00					110.64					4.75								23.11											50.10	
P R P				51.00			51.00					110.64					4.75								23.11											50.10	

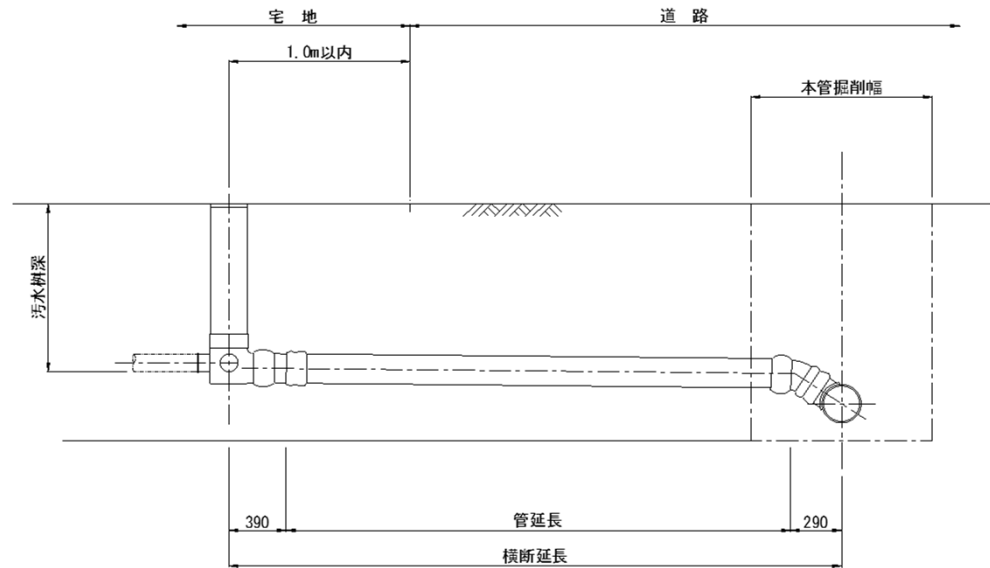


マンホール底部工数量計算書

種 別	算 式	数 量
1号マンホール	(VUφ200、1方向流入)	
	1.インバートコンクリート $0.90^2 \times \pi / 4 \times 0.27 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 0.90$	計 = 0.16 m3
	2.モルタル上塗り工 $0.90^2 \times \pi / 4 + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.90 - 0.20 \times 0.90$	計 = 0.74 m2
	3.基礎碎石 $1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1.2$	計 = 0.23 m3
	(VUφ200、2方向流入)	
	1.インバートコンクリート $0.90^2 \times \pi / 4 \times 0.27 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times (0.90 + 0.35)$	計 = 0.15 m3
	2.モルタル上塗り工 $0.90^2 \times \pi / 4 + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times (0.90 + 0.35) - 0.20 \times (0.90 + 0.35)$	計 = 0.78 m2
	3.基礎碎石 $1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1.2$	計 = 0.23 m3

# 取付管材料調書

路線番号	家屋名	柵深さ	柵タイプ		設置方向 L(左) R(右)	本管 平均 土被り	本管 平均 掘削深	本管 掘削幅	管延長	横断延長	宅地- 道路 m	接続方法 1:人孔接続 2:管接続	取付管材料							舗装種別	
													片受直管 L=4.00	自在曲管 0°	自在曲管 30°	自在曲管 60°	自在曲管 75°	支管 90°	接着受口カラー φ100		可とう継手 φ100
5049	6	1.10	1	A	R	2.01	2.32	0.95	1.92	2.60		2	1.92	1	1			1			県道歩道
5049	7	1.50	1	A	R	2.01	2.32	0.95	1.92	2.60		2	1.92	1	1			1			県道歩道
合計		2								5.20 平均2.60m		管2	3.84 1本	2	2			2			







取付管土工計算書

取付管径 φ150 外径0.165m

路線番号	柵番号	柵個数	柵深さ	設置方向 L(左) R(右)	掘削深			h1 舗装厚	h2 舗装厚+ 路床厚	本管 掘削幅	掘削幅				占用延長				掘削 土量 (m3)	埋戻 (道路部) 発生土 (m3)	埋戻 (宅内部) 発生土 (m3)	埋戻 砂 (管下~管上30cm) (m3)	管基礎 砂 (管下10cm) (m3)	残土量 (m3)
					H1 (m)	H2 (m)	H (H1+H2)/2 (m)				W (m)	W1 (m)	W2 (m)	W3 (m)	L 全長 (m)	L1 道路 (m)	L2 宅内 (m)	L3 道路-本管掘削 (m)						
5049	6	1	1.10	R	1.10	1.12	1.11	0.03	0.13	0.95	0.770	0.764	0.744	0.643	2.6	1.60	1.00	1.13	1.72	0.49	0.45	0.55	0.12	0.68
5049	7	1	1.50	R	1.50	1.52	1.51	0.03	0.13	0.95	0.850	0.844	0.824	0.643	2.6	1.60	1.00	1.13	2.42	0.85	0.77	0.55	0.12	0.62
計	柵個数																		4.14	1.34	1.22	1.10	0.24	1.30

掘削土量 =  $(0.55+W1)/2 \times (H-h1) \times (L2+L3)$

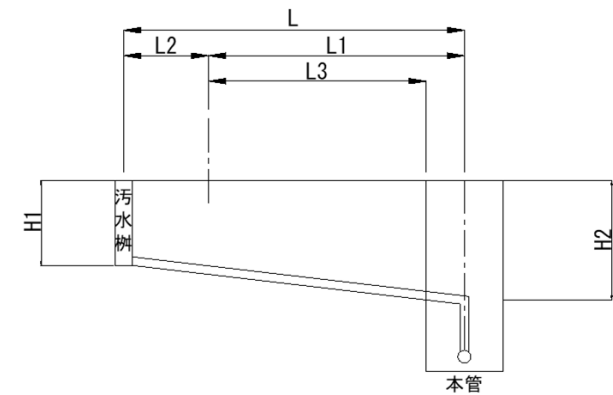
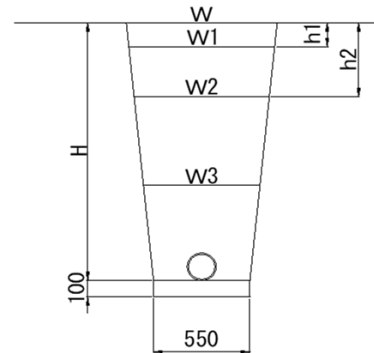
発生路盤材 =  $(W1+W2)/2 \times (h2-h1) \times L3$

埋戻土量(道路部) =  $(W1+W3)/2 \times \{H-h1-(0.3+管外径)\} \times L3$

埋戻土量(宅内部) =  $(W2+W3)/2 \times \{H-(0.3+管外径)\} \times L2$

管基礎 =  $\{W3+0.55\}/2 \times \{(0.3+管外径)-管断面積\} \times (L2+L3)$

残土 = 掘削土量 - 発生路盤材

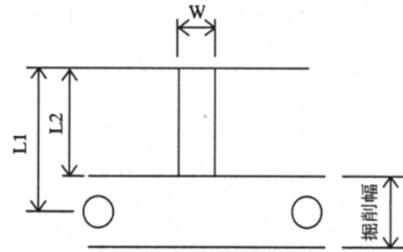


仮復旧計算書

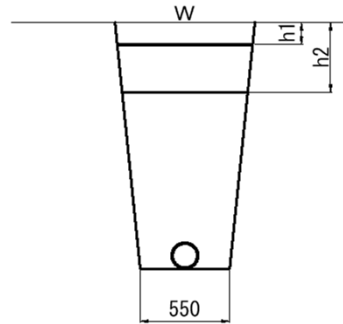
路線番号	人孔番号	舗装種別	路線延長 (m)	掘削幅 (m)	仮復旧表層工				基層 (m <sup>2</sup> )	路盤工				舗装切断工 AS 15cm以下 (m)	舗装版破碎工			Asガラ処分工						
					県道歩道 t=3cm (m <sup>2</sup> )	出入口B t=5cm (m <sup>2</sup> )	市道車道 t=3cm (m <sup>2</sup> )	県道歩道 t=10cm (m <sup>2</sup> )		出入口B t=25cm (m <sup>2</sup> )	出入口C t=30cm (m <sup>2</sup> )	市道車道 t=22cm (m <sup>2</sup> )	As		Co	県道歩道 t=3cm (m <sup>3</sup> )	出入口B t=5cm (m <sup>3</sup> )	市道車道 t=5cm (m <sup>3</sup> )	合計 (m <sup>3</sup> )					
													10cm以下 (m <sup>2</sup> )							(m <sup>2</sup> )				
5049	5049-1 5049-1+10.50	市道車道	10.50	0.95			9.98					9.98	21.00	9.98						0.50	0.50			
5049	5049-1+10.50 5049-1+39.50	県道歩道	29.00	0.95	27.55				27.55				58.00	27.55						0.83		0.83		
5049	5049-1+39.50 5049-1+45.50	出入口B	6.00	0.95		5.70				5.70			12.00	5.70						0.29		0.29		
5049	5049-1+45.50 5246-2-1	県道歩道	5.50	0.95	5.23				5.23				11.00	5.23						0.16		0.16		
合計					32.78	5.70		9.98		32.78	5.70		9.98	102.00	掘削積込 48.46	48.46				0.99	0.29		0.50	1.78

付帯工計算書(取付部)

路線 番号	柵番号	取付管延長L1		設置 数	側溝等 減量 I	舗装		種別 h2 路床厚	本管 掘削幅	L2	本管 影響巾 B1m	取付管 影響巾 B2m	舗装掘削				舗装復旧			
		L,R	(m)			h1 舗層厚	W						カッター工 (m)	舗装剥がし t=3cm		舗装 (m <sup>2</sup> )	歩道路盤 (m <sup>2</sup> )	砂利道路盤 (m <sup>2</sup> )	路床用碎石 (m <sup>3</sup> )	
														(m <sup>2</sup> )	(m <sup>3</sup> )					
5049	6	R	1.60	1	0.70	0.03	0.13	0.95	0.43				0.86	0.77	0.33	0.0099	0.33	0.33		
5049	7	R	1.60	1	0.70	0.03	0.13	0.95	0.43				0.86	0.85	0.37	0.0110	0.37	0.37		
計												As 1.72	Co		0.70	0.02	0.70	0.70		



$$L2 = L1 - (\text{掘削幅}/2) - I$$



カッター工 =  $L2 \times 2$   
 路盤 =  $W \times L2$   
 舗装剥がし =  $W \times L2$

舗装復旧  
 表層・基層・路盤 =  $W \times L2$

本復旧計算書

路線番号	人孔番号	舗装種別	路線延長 (m)	掘削幅 (m)	本復旧幅 (m)	本復旧表層工				本復旧基層工 出入口C t=5cm (m <sup>2</sup> )	舗装切断工		舗装版破碎工 As 10 c m以下 (m <sup>2</sup> )	Asガラ処分工				備 考
						県道歩道 t=3cm (m <sup>2</sup> )	出入口B t=5cm (m <sup>2</sup> )	出入口C t=5cm (m <sup>2</sup> )	市道車道 t=5cm (m <sup>2</sup> )		有(1断面):1 有(2断面):2 無:空白	AS 15cm以下 (m)		県道歩道 t=3cm (m <sup>3</sup> )	出入口B t=5cm (m <sup>3</sup> )	出入口C t=10cm (m <sup>3</sup> )	市道車道 t=3cm (m <sup>3</sup> )	
5049	5049-1 5049-1+10.50	市道車道	10.50	0.95														別途計上
5049	5049-1+10.50 5049-1+39.50	県道歩道	29.00	0.95	2.85	82.65						82.65	2.48					2.48
5049	5049-1+39.50 5049-1+45.50	出入口B	6.00	0.95	4.65		27.90					27.90		1.40				1.40
5049	5049-1+45.50 5246-2-1	県道歩道	5.50	0.95	2.85	15.68						15.68	0.47					0.47
合計			51.00			98.33	27.90					126.23 掘削積込	2.95	1.40				4.35

付帯工数量計算書

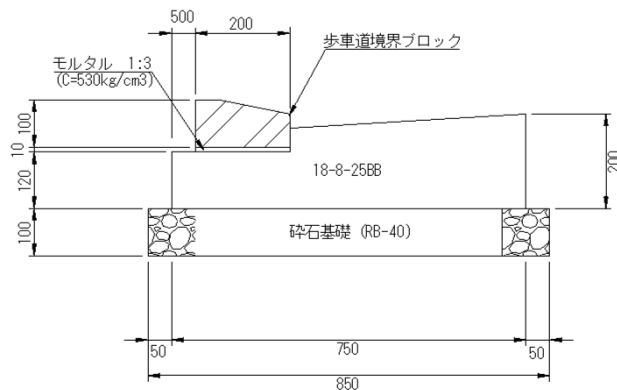
種 別	算 式	数 量									
舗装版撤去工	アスファルト混合物の締固後密度 (t/m <sup>3</sup> )										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>車道及び路肩</th> <th>歩道</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粗粒度As・密粒度As</td> <td>2.35</td> <td>2.20</td> </tr> <tr> <td>細粒度As</td> <td>2.30</td> <td>2.15</td> </tr> </tbody> </table>		車道及び路肩	歩道	粗粒度As・密粒度As	2.35	2.20	細粒度As	2.30	2.15	
		車道及び路肩	歩道								
	粗粒度As・密粒度As	2.35	2.20								
	細粒度As	2.30	2.15								
	仮復旧										
	ガラ処分										
	歩道(本管部)										
	$0.99(\text{m}^3) \times 2.15(\text{t}/\text{m}^3) = 2.13(\text{t})$										
	出入口B、市道車道										
$(0.29 + 0.50)(\text{m}^3) \times 2.35(\text{t}/\text{m}^3) = 1.86(\text{t})$											
$2.13 + 1.86 = 3.99(\text{t})$	計 =	3.99 t									
歩道(取付管部)											
$0.02(\text{m}^3) \times 2.15(\text{t}/\text{m}^3) = 0.04(\text{t})$	計 =	0.04 t									
本復旧											
ガラ処分											
歩道											
$2.95(\text{m}^3) \times 2.15(\text{t}/\text{m}^3) = 6.34(\text{t})$											
出入口B、市道車道											
$(1.40 + 3.85)(\text{m}^3) \times 2.35(\text{t}/\text{m}^3) = 12.34(\text{t})$											
$6.34(\text{t}) + 12.34(\text{t}) = 18.68(\text{t})$	計 =	18.68 t									

## 付帯工数量計算書

種 別	算 式	数 量
舗装版撤去工	本復旧	
	舗装版切断 As15cm以下	
	付帯工図より	計 = 20.10 m
	舗装版破碎工	
	市道車道 = 80.90(m <sup>2</sup> ) 付帯工図より 県道歩道、出入口B = 126.23(m <sup>2</sup> ) 本復旧計算書より $80.90(m^2) + 126.23(m^2) = 207.13(m^2)$	計 = 207.13 m <sup>2</sup>
区画線工	As殻運搬工	
	市道車道	
	$9.98(m^2) \times 0.03(m) + (80.90 - 9.98)(m^2) \times 0.05(m) = 3.85(m^3)$	
	県道歩道 = 2.95(m <sup>3</sup> )	
	出入口B = 1.40(m <sup>3</sup> ) $3.85(m^3) + 2.95(m^3) + 1.40(m^3) = 8.20(m^3)$	計 = 8.20 m <sup>3</sup>
区画線工	道路復旧工	
	表層工(市道車道)	
	付帯工図より	計 = 80.90 m <sup>2</sup>
	区画線設置	
	実線 45cm	
区画線工	付帯工図より	計 = 52.40 m
	実線 15cm	
	付帯工図より	計 = 1.80 m

付帯工数量計算書

種 別	算 式	数 量
排水構造物撤去工	<p>10m当たり</p> <p><b>L型街渠</b></p> <p>コンクリート取り壊し</p> <p style="text-align: right;">計 =</p> <p><b>歩車道境界ブロック</b></p> <p>撤去(再利用)</p> <p style="text-align: right;">計 =</p>	<p>1.198 m<sup>3</sup></p> <p>16.50 個</p>
排水構造物設置工	<p>10m当たり</p> <p><b>L型街渠</b></p> <p>コンクリート工</p> <p style="text-align: right;">計 =</p> <p>型枠</p> <p style="text-align: right;">計 =</p> <p>砕石基礎</p> <p style="text-align: right;">計 =</p> <p><b>歩車道境界ブロック</b></p> <p>設置(現場発生品)</p> <p style="text-align: right;">計 =</p>	<p>1.198 m<sup>3</sup></p> <p>3.10 m<sup>2</sup></p> <p>8.50 m<sup>2</sup></p> <p>16.50 個</p>
L型街渠撤去・復旧	<p>L=1.20(m)</p> <p style="text-align: right;">計 =</p> <p><b>コンクリート殻運搬</b></p> <p><math>0.12(\text{m}^2) \times 1.20(\text{m}) = 0.144(\text{m}^3)</math></p> <p style="text-align: right;">計 =</p> <p><b>コンクリート殻処理</b></p> <p><math>0.144(\text{m}^3) \times 2.35(\text{t}/\text{m}^3) = 0.34(\text{t})</math></p> <p style="text-align: right;">計 =</p>	<p>1.20 m</p> <p>0.14 m<sup>3</sup></p> <p>0.34 t</p>





令和2年度

R元国補・R2市単公下合併第1号工事

数 量 計 算 書

単独

茨城県石岡市都市建設部下水道課

数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量	
管きょ工	内径φ200mm	路線延長		m	192.5	192.50	
	管路土工						
		管路掘削	合計	m <sup>3</sup>	390		
			機械掘削 山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	390	388.87	
			機械掘削 山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			
		管路埋戻(砂)	合計(管下～管上30cm)	m <sup>3</sup>	87		
			山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	87	87.24	
			山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			
		管路埋戻(発生土)	合計(管上30cm～路盤下)	m <sup>3</sup>	260		
			山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	260	255.17	
			山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			
		発生土処理	合計	m <sup>3</sup>	110		
			山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	110	105.34	
			山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			
			ストックヤード L=7.0km				
	管布設工						
		硬質塩化ビニル管	φ150mm×4.00m	本			
			φ200mm×4.00m	本	48	48	
		リップ付き硬質塩化ビニル管	φ200mm×4.00m	本			
		マンホール用可とう継手	φ150mm	個			
			φ200mm	個	6	6	
		硬質塩化ビニル管布設工	φ150mm	m			
			φ200mm	m	189.80	189.80	
		リップ付き硬質塩化ビニル管	φ200	m			
		砂基礎	W=0.80 素掘部	m			
				m <sup>3</sup>			
			W=0.95土留部	m	189.3	189.32	
				m <sup>3</sup>	18	17.98	
			W=1.05 土留部	m			
				m <sup>3</sup>			
			W=1.15 土留部	m			
				m <sup>3</sup>			
				m <sup>3</sup>			

数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量
	管路土留工					
		たて込み簡易土留	素掘り	m		
			H=2.00m	m	71.0	71.00
			H=2.50m	m	121.5	121.50
			H=3.00m	m		
			H=3.50m	m		
			H=4.00m	m		
			H=4.50m	m		
			H=5.00m	m		
マンホール工	組立マンホール工					
	組立1号マンホール			箇所	3	3
		マンホール材料		式		
		マンホール蓋	T-14 φ600	組	3	3
			T-25 φ600	組		
		転落防止はしご	φ600用	組	2	2
		調整モルタル		m <sup>3</sup>	0.029	0.0292
			0.029×1875kg/m <sup>3</sup>	Kg	54.38	
		調整リング	50mm φ600	個		
			100mm φ600	個	4	4
			150mm φ600	個	1	1
		斜壁ブロック	H=300	個		
			H=450	個		
			H=600	個	3	3
		直壁ブロック	H=300	個		
			H=600	個		
			H=900	個		
			H=1200	個		
			H=1500	個		
			H=1800	個		
		躯体ブロック	H=600	個		
			H=900	個	1	1
			H=1200	個		
			H=1500	個	2	2
			H=1800	個		
		底版ブロック	H=130	個	3	3
		削孔工	φ100mm	箇所		
			φ150mm	箇所		
			φ200mm	箇所	3	3

数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量
		底部工				
		(標準)	有り	箇所	3	3
			無し	箇所		
			インバートコンクリート	m <sup>3</sup> /箇所	0.16	0.16
			モルタル上塗り工	m <sup>2</sup> /箇所	0.74	0.74
			砕石基礎工 RB-40	m <sup>3</sup> /箇所	0.23	0.23
		ブロック据付工				
			3m以下	箇所	3	3
			3m超4m以下	箇所		
			4m超5m以下	箇所		
取付管						
及びます工	土工(桝)					
		掘削	人力	m <sup>3</sup>	5	4.71
		埋戻(発生土)	人力	m <sup>3</sup>	4	4.43
		桝基礎(砂)	人力	m <sup>3</sup>	1	0.15
	土工(取付管)			m <sup>3</sup>		
		掘削	山積Q=0.13m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	10	9.80
		埋戻(発生土)	合計	m <sup>3</sup>	6	
			山積Q=0.13m <sup>3</sup> 、道路部	m <sup>3</sup>	3	3.08
			山積Q=0.13m <sup>3</sup> 、宅内部	m <sup>3</sup>	3	2.81
		埋戻(砂)	管下～管上30cm	m <sup>3</sup>	3	2.75
		管基礎(砂)	山積Q=0.13m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	1	0.60
		発生土処理	合計	m <sup>3</sup>	3	2.88
			桝	m <sup>3</sup>	-0.39	-0.39
			取付管	m <sup>3</sup>	3	3.27
	ます設置工					
		小口径塩ビ製ます	3方向流入縦型 φ200-φ150	個		
			3方向流入横型 φ200-φ150	個	5	5
		プレーンエンド直管	VUφ150	本		
			VUφ200	本	5.55	5.55
		汚水ます蓋	塩ビ製T-2	個	3	3
			鋳鉄製防護蓋T-8	個	2	2







## 塩ビ管材料計算書

路線番号	人孔番号	人孔種別	人孔による減長	路線延長 m	人孔控除 m	管体延長 m	人孔用砂付短管			直管部延長	本数	片受直管 ゴム輪受口 4.0m/本	可とう 継手	摘要
	上流	上流	上流				(差口)	(受口)	副管(受口)					
	下流	下流	下流				0.50m/本	0.50m/本	1.00m/本					
5034	5034-1	1号	0.450	63.00	0.45	62.55				62.55	16		1	県道歩道
	5034-1+63.00													
5034	5034-1+63.00			5.90		5.90				5.90	2			出入口B
	5034-1+68.90													
5034	5034-1+68.90			2.10	0.45	1.65				1.65	1		1	県道歩道
	5034-2	1号	0.450											
5034	5034-2	1号	0.450	59.00	0.45	58.55				58.55	15		1	県道歩道
	5034-2+59.00													
5034	5034-2+59.00			6.00	0.45	5.55				5.55	2		1	出入口B
	5039-1	1号	0.450											
5039	5039-1	1号	0.450	30.00	0.45	29.55				29.55	8		1	県道歩道
	5039-1+30.00													
5039	5039-1+30.00			6.00		6.00				6.00	2			出入口B
	5039-1+36.00													
5039	5039-1+36.00			18.30		18.30				18.30	5			県道歩道
	5039-1+54.30													
5039	5039-1+54.30			2.20	0.45	1.75				1.75	1		1	市道車道
	5049-1	1号	0.450											
合計				192.50	昼間 夜間	189.80				189.80	48		6	



管渠土工計算書

路線番号	人孔番号	人孔種別	平均掘削深 H	掘削幅 B	路線延長 L	人孔等による減長 (m)	管体延長 L1 (m)	基礎減長 上流 下流 (m)	基礎延長 L2 (m)	土 工											基礎工		
										機械掘削		舗装種別	管控除面積 (m <sup>2</sup> )	埋 戻 し						残土		砂基礎	
										BH 0.28m <sup>3</sup> V1	BH 0.45m <sup>3</sup> V1			管下～管上30cm			管上30cm～路盤下			0.28m <sup>3</sup>	0.45m <sup>3</sup>	管下10cm	
										(m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> )			埋戻高 (m)	0.28m <sup>3</sup> V4	0.45m <sup>3</sup> V4	埋戻高 (m)	0.28m <sup>3</sup> V3	0.45m <sup>3</sup> V3			V6	V6
5034	5034-1 5034-1+63.00	1号	1.84	0.95	63.00	0.45	62.55	0.53	62.47	108.33		県道歩道	0.037	0.516	28.55		1.09	65.48		35.57		5.93	
5034	5034-1+63.00 5034-1+68.90		1.84	0.95	5.90		5.90	5.90	5.90	10.03		出入口B	0.037	0.516	2.67		0.92	5.18		4.27		0.56	
5034	5034-1+68.90 5034-2	1号	1.84	0.95	2.10	0.45	1.65	0.53	1.57	3.61		県道歩道	0.037	0.516	0.95		1.09	2.18		1.19		0.15	
5034	5034-2 5034-2+59.00	1号	2.34	0.95	59.00	0.45	58.55	0.53	58.47	129.48		県道歩道	0.037	0.516	26.74		1.59	89.34		30.21		5.55	
5034	5034-2+59.00 5039-1	1号	2.34	0.95	6.00	0.45	5.55	0.53	5.47	13.05		出入口B	0.037	0.516	2.72		1.42	8.12		4.03		0.52	
5039	5039-1 5039-1+30.00	1号	2.35	0.95	30.00	0.45	29.55	0.53	29.47	66.12		県道歩道	0.037	0.516	13.60		1.60	45.71		15.33		2.80	
5039	5039-1+30.00 5039-1+36.00		2.35	0.95	6.00		6.00		6.00	13.11		出入口B	0.037	0.516	2.72		1.43	8.17		4.03		0.57	
5039	5039-1+36.00 5039-1+54.30		2.35	0.95	18.30		18.30	18.30	18.30	40.33		県道歩道	0.037	0.516	8.29		1.60	27.89		9.34		1.74	
5039	5039-1+54.30 5049-1	1号	2.35	0.95	2.20	0.45	1.75	0.53	1.67	4.81		市道車道	0.037	0.516	1.00		1.48	3.10		1.37		0.16	
合計	夜間 昼間				192.50		189.80		189.32	388.87					87.24		発生土	255.17		105.34		17.98	

山 留 工 計 算 書

路線番号	人孔番号	掘平 削深均	掘削幅	路線延長 L	軽量鋼矢板工法			素掘り 全面	建込み簡易土留め工法						備考	
					H=3.00m 全面	H=3.50m 全面	H=4.00 全面		H=2.00m 全面	H=2.50m 全面	H=3.00m 全面	H=3.50m 全面	H=4.00m 全面	H=4.50m 全面		H=5.00m 全面
	上流	H,H'	B	支保工2段	支保工2段	支保工3段	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)			
5034	5034-1 5034-1+63.00	1.84	0.95	63.00					63.00							
5034	5034-1+63.00 5034-1+68.90	1.84	0.95	5.90					5.90							
5034	5034-1+68.90 5034-2	1.84	0.95	2.10					2.10							
5034	5034-2 5034-2+59.00	2.34	0.95	59.00					59.00							
5034	5034-2+59.00 5039-1	2.34	0.95	6.00					6.00							
5039	5039-1 5039-1+30.00	2.35	0.95	30.00					30.00							
5039	5039-1+30.00 5039-1+36.00	2.35	0.95	6.00					6.00							
5039	5039-1+36.00 5039-1+54.30	2.35	0.95	18.30					18.30							
5039	5039-1+54.30 5049-1	2.35	0.95	2.20					2.20							
合計		平均 2.16		192.50			昼間 夜間		71.00	121.50						

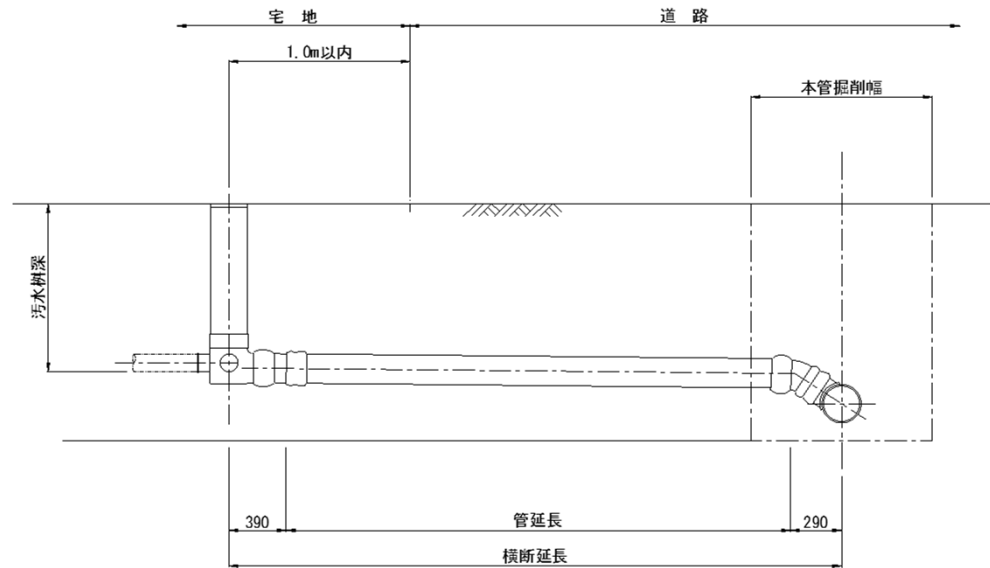


マンホール底部工数量計算書

種 別	算 式	数 量
1号マンホール	(VUφ200、1方向流入)	
	1.インバートコンクリート $0.90^2 \times \pi / 4 \times 0.27 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 0.90$	計 = 0.16 m3
	2.モルタル上塗り工 $0.90^2 \times \pi / 4 + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.90 - 0.20 \times 0.90$	計 = 0.74 m2
	3.基礎碎石 $1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1.2$	計 = 0.23 m3
	(VUφ200、2方向流入)	
	1.インバートコンクリート $0.90^2 \times \pi / 4 \times 0.27 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times (0.90 + 0.35)$	計 = 0.15 m3
	2.モルタル上塗り工 $0.90^2 \times \pi / 4 + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times (0.90 + 0.35) - 0.20 \times (0.90 + 0.35)$	計 = 0.78 m2
	3.基礎碎石 $1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1.2$	計 = 0.23 m3

# 取付管材料調書

路線番号	家屋名	柵深さ	柵タイプ	設置方向		本管 平均 土被り	本管 平均 掘削深	本管 掘削幅	管延長	横断延長	宅地 - 道路 m	接続方法 1: 人孔接続 2: 管接続	取付管材料							舗装種別	
				L (左)	R (右)								片受直管 L = 4.00	自在曲管 0°	自在曲管 30°	自在曲管 60°	自在曲管 75°	支管 90°	接着受口カラー φ 100		可とう継手 φ 100
5034	1	1.30	1	A	R	1.53	1.84	0.95	1.92	2.60		2	1.92	1	1			1			県道歩道
5034	2	1.30	1	A	R	1.53	1.84	0.95	1.92	2.60		2	1.92	1	1			1			県道歩道
5034	3	1.40	1	A	R	2.34	2.34	0.95	1.92	2.60		2	1.92	1	1			1			県道歩道
5039	4	1.10	1	A	R	2.38	2.35	0.95	1.92	2.60		2	1.92	1	1			1			県道歩道
5039	5	1.10	1	A	R	2.35	2.35	0.95	1.92	2.60		2	1.92	1	1			1			県道歩道
合計		5								13.00 平均2.60m		管5	9.60 3本	5	5			5			





取付管土工計算書

取付管径 φ150 外径0.165m

路線番号	柵番号	柵個数	柵深さ	設置方向 L(左) R(右)	掘削深			h1 舗装厚 (m)	h2 舗装厚+ 路床厚 (m)	本管 掘削幅 (m)	掘削幅				占用延長				掘削 土量 (m3)	埋戻 (道路部) 発生土 (m3)	埋戻 (宅内部) 発生土 (m3)	埋戻 (管上30cm) 砂 (m3)	埋戻 (管下10cm) 砂 (m3)	管基礎 砂 (m3)	残土量 (m3)
					H1 (m)	H2 (m)	H (H1+H2)/2 (m)				W (m)	W1 (m)	W2 (m)	W3 (m)	L 全長 (m)	L1 道路 (m)	L2 宅内 (m)	L3 道路-本管掘削 (m)							
5034	1	1	1.30	R	1.30	1.32	1.31	0.03	0.13	0.95	0.810	0.804	0.784	0.643	2.6	1.60	1.00	1.13	2.06	0.67	0.61	0.55	0.12	0.64	
5034	2	1	1.30	R	1.30	1.32	1.31	0.03	0.13	0.95	0.810	0.804	0.784	0.643	2.6	1.60	1.00	1.13	2.06	0.67	0.61	0.55	0.12	0.64	
5034	3	1	1.40	R	1.40	1.42	1.41	0.03	0.13	0.95	0.830	0.824	0.804	0.643	2.6	1.60	1.00	1.13	2.24	0.76	0.69	0.55	0.12	0.63	
5039	4	1	1.10	R	1.10	1.12	1.11	0.03	0.13	0.95	0.770	0.764	0.744	0.643	2.6	1.60	1.00	1.13	1.72	0.49	0.45	0.55	0.12	0.68	
5039	5	1	1.10	R	1.10	1.12	1.11	0.03	0.13	0.95	0.770	0.764	0.744	0.643	2.6	1.60	1.00	1.13	1.72	0.49	0.45	0.55	0.12	0.68	
計	柵個数																		9.80	3.08	2.81	2.75	0.60	3.27	

掘削土量 =  $(0.55+W1)/2 \times (H-h1) \times (L2+L3)$

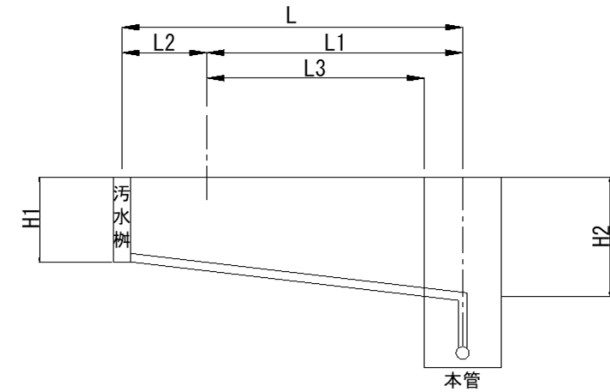
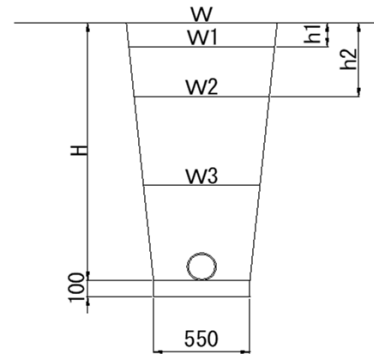
発生路盤材 =  $(W1+W2)/2 \times (h2-h1) \times L3$

埋戻土量(道路部) =  $(W1+W3)/2 \times \{H-h1-(0.3+管外径)\} \times L3$

埋戻土量(宅内部) =  $(W2+W3)/2 \times \{H-(0.3+管外径)\} \times L2$

管基礎 =  $\{W3+0.55\}/2 \times \{(0.3+管外径)-管断面積\} \times (L2+L3)$

残土 = 掘削土量 - 発生路盤材



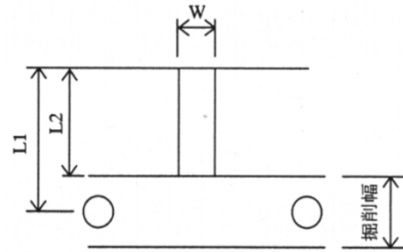
仮復旧計算書

路線番号	人孔番号	舗装種別	路線延長 (m)	掘削幅 (m)	仮復旧表層工				基層 (m <sup>2</sup> )	路盤工				舗装切断工 AS 15cm以下 (m)	舗装版破碎工			Asガラ処分工					
					県道歩道 t=3cm (m <sup>2</sup> )	出入口B t=5cm (m <sup>2</sup> )		市道車道 t=3cm (m <sup>2</sup> )		県道歩道 t=10cm (m <sup>2</sup> )	出入口B t=25cm (m <sup>2</sup> )	出入口C t=30cm (m <sup>2</sup> )	市道車道 t=22cm (m <sup>2</sup> )		As		Co	県道歩道 t=3cm (m <sup>3</sup> )	出入口B t=5cm (m <sup>3</sup> )		市道車道 t=5cm (m <sup>3</sup> )	合計 (m <sup>3</sup> )	
															10cm以下 (m <sup>2</sup> )	(m <sup>2</sup> )							
5034	5034-1 5034-1+63.00	県道歩道	63.00	0.95	59.85					59.85				126.00	59.85			1.80					1.80
5034	5034-1+63.00 5034-1+68.90	出入口B	5.90	0.95		5.61					5.61			11.80	5.61				0.28				0.28
5034	5034-1+68.90 5034-2	県道歩道	2.10	0.95	2.00					2.00				4.20	2.00			0.06					0.06
5034	5034-2 5034-2+59.00	県道歩道	59.00	0.95	56.05					56.05				118.00	56.05			1.68					1.68
5034	5034-2+59.00 5039-1	出入口B	6.00	0.95		5.70					5.70			12.00	5.70				0.29				0.29
5039	5039-1 5039-1+30.00	県道歩道	30.00	0.95	28.50					28.50				60.00	28.50			0.86					0.86
5039	5039-1+30.00 5039-1+36.00	出入口B	6.00	0.95		5.70					5.70			12.00	5.70				0.29				0.29
5039	5039-1+36.00 5039-1+54.30	県道歩道	18.30	0.95	17.39					17.39				36.60	17.39			0.52					0.52
5039	5039-1+54.30 5049-1	市道車道	2.20	0.95				2.09					2.09	4.40	2.09							0.10	0.10
合計					163.79	17.01		2.09		163.79	17.01		2.09	385.00	182.89	掘削積込	182.89		4.92	0.86		0.10	5.88

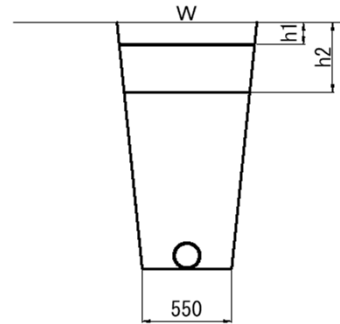


付帯工計算書(取付部)

路線 番号	柵番号	取付管延長L1		設 置 数	側溝等 減量 I	舗装		種別 h2 路床厚	本管 掘削幅	L2	本管 影響巾 B1m	取付管 影響巾 B2m	舗装掘削				舗装復旧			
		L,R	(m)			h1 舗層厚	W						カッター工 (m)	舗装剥がし t=3cm		舗装 (m <sup>2</sup> )	歩道路盤 (m <sup>2</sup> )	砂利道路盤 (m <sup>2</sup> )	路床用碎石 (m <sup>3</sup> )	
														(m <sup>2</sup> )	(m <sup>3</sup> )					
5034	1	R	1.60	1	0.70	0.03	0.13	0.95	0.43				0.86	0.81	0.35	0.0104	0.35	0.35		
5034	2	R	1.60	1	0.70	0.03	0.13	0.95	0.43				0.86	0.81	0.35	0.0105	0.35	0.35		
5034	3	R	1.60	1	0.70	0.03	0.13	0.95	0.43				0.86	0.83	0.36	0.0108	0.36	0.36		
5039	4	R	1.60	1	0.70	0.03	0.13	0.95	0.43				0.86	0.77	0.33	0.0099	0.33	0.33		
5039	5	R	1.60	1	0.70	0.03	0.13	0.95	0.43				0.86	0.77	0.33	0.0099	0.33	0.33		
計												As 4.30	Co		1.72	0.05	1.72	1.72		



$$L2 = L1 - (\text{掘削幅}/2) - I$$



カッター工=L2×2  
 路盤=W×L2  
 舗装剥がし=W×L2

舗装復旧  
 表層・基層・路盤=W×L2

本復旧計算書

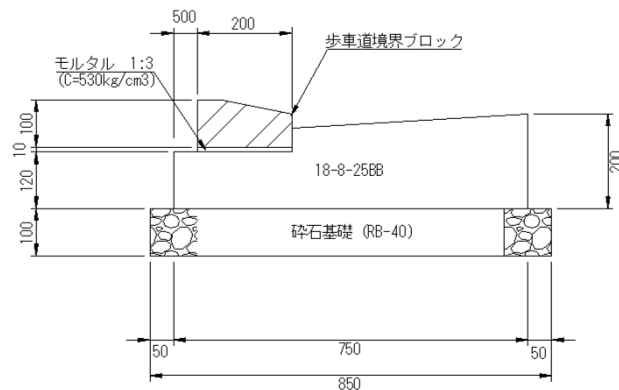
路線番号	人孔番号	舗装種別	路線延長 (m)	掘削幅 (m)	本復旧幅 (m)	本復旧表層工				本復旧基層工 出入口C t=5cm (m <sup>2</sup> )	舗装切斷工		舗装版破碎工 As 10 c m以下 (m <sup>2</sup> )	Asガラ処分工				合計 (m <sup>3</sup> )	備 考
						県道歩道 t=3cm (m <sup>2</sup> )	出入口B t=5cm (m <sup>2</sup> )	出入口C t=5cm (m <sup>2</sup> )	(m <sup>2</sup> )		有(1断面):1 有(2断面):2 無:空白	AS 15cm以下 (m)		県道歩道 t=3cm (m <sup>3</sup> )	出入口B t=5cm (m <sup>3</sup> )	出入口C t=10cm (m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> )		
5034	5034-1 5034-1+63.00	県道歩道	63.00	0.95	2.85	179.55						179.55	5.39				5.39		
5034	5034-1+63.00 5034-1+68.90	出入口B	5.90	0.95	4.65		27.44					27.44		1.37			1.37		
5034	5034-1+68.90 5034-2	県道歩道	2.10	0.95	2.85	5.99						5.99	0.18				0.18		
5034	5034-2 5034-2+59.00	県道歩道	59.00	0.95	2.85	168.15						168.15	5.04				5.04		
5034	5034-2+59.00 5039-1	出入口B	6.00	0.95	4.65		27.90					27.90		1.40			1.40		
5039	5039-1 5039-1+30.00	県道歩道	30.00	0.95	2.85	85.50						85.50	2.57				2.57		
5039	5039-1+30.00 5039-1+36.00	出入口B	6.00	0.95	4.65		27.90					27.90		1.40			1.40		
5039	5039-1+36.00 5039-1+54.30	県道歩道	18.30	0.95	2.85	52.16						52.16	1.56				1.56		
5039	5039-1+54.30 5049-1	市道車道	2.20	0.95														別途計上	
合計			192.50			491.35	83.24					574.59 掘削積込	14.74	4.17			18.91		

付帯工数量計算書

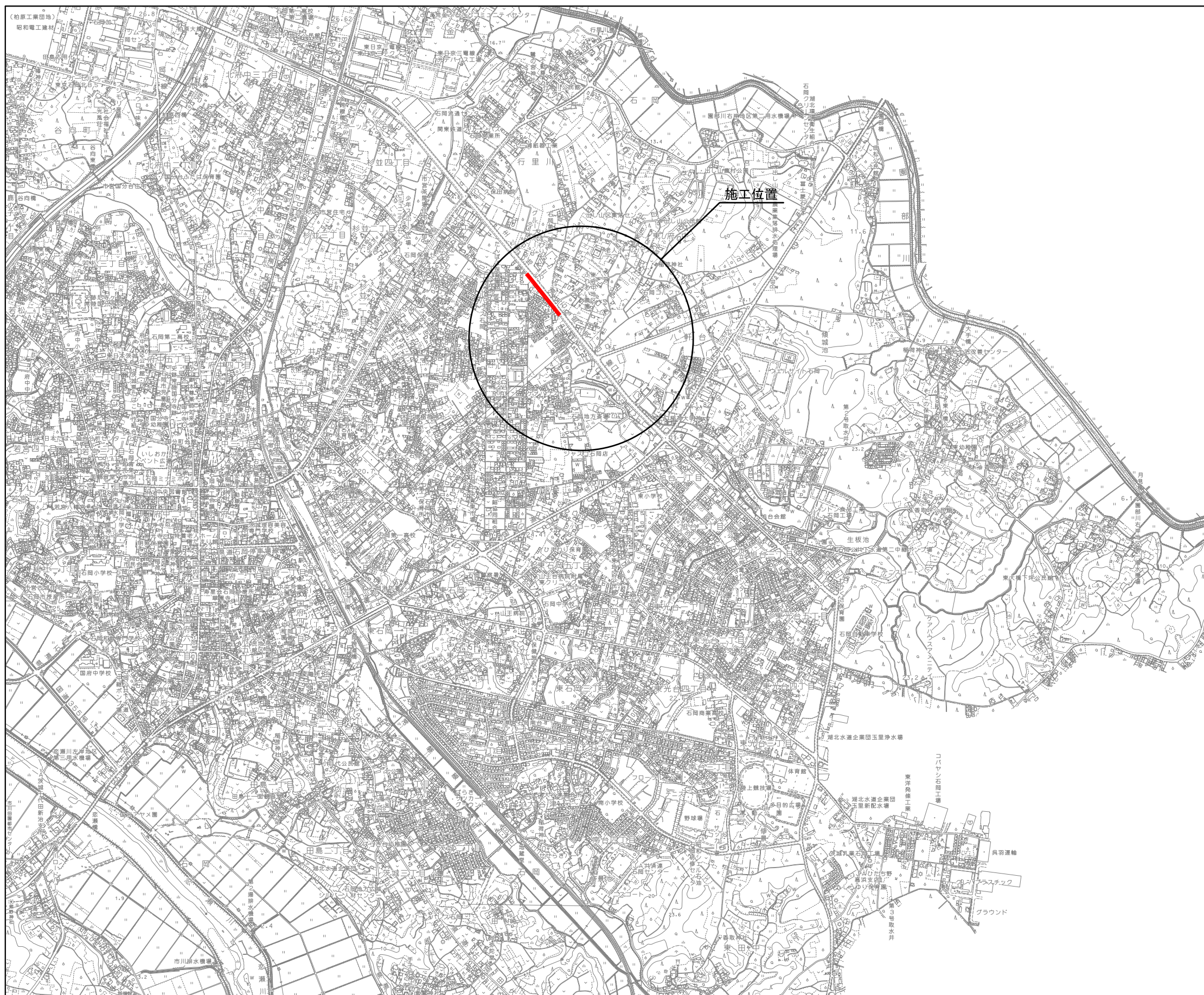
種 別	算 式	数 量									
舗装版撤去工	アスファルト混合物の締固後密度 (t/m3)										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>車道及び路肩</th> <th>歩道</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粗粒度As・密粒度As</td> <td>2.35</td> <td>2.20</td> </tr> <tr> <td>細粒度As</td> <td>2.30</td> <td>2.15</td> </tr> </tbody> </table>		車道及び路肩	歩道	粗粒度As・密粒度As	2.35	2.20	細粒度As	2.30	2.15	
		車道及び路肩	歩道								
	粗粒度As・密粒度As	2.35	2.20								
	細粒度As	2.30	2.15								
	仮復旧										
	ガラ処分										
	歩道(本管部)										
	$4.92(\text{m}^3) \times 2.15(\text{t}/\text{m}^3) = 10.58(\text{t})$										
	出入口B、市道車道										
$(0.86 + 0.10)(\text{m}^3) \times 2.35(\text{t}/\text{m}^3) = 2.26(\text{t})$											
$10.58 + 2.26 = 12.84(\text{t})$	計 =	12.84 t									
歩道(取付管部)											
$0.05(\text{m}^3) \times 2.15(\text{t}/\text{m}^3) = 0.11(\text{t})$	計 =	0.11 t									
本復旧											
ガラ処分											
歩道											
$14.74(\text{m}^3) \times 2.15(\text{t}/\text{m}^3) = 31.69(\text{t})$											
出入口B、出入口C											
$4.17(\text{m}^3) \times 2.35(\text{t}/\text{m}^3) = 9.80(\text{t})$											
$31.69(\text{t}) + 9.80(\text{t}) = 41.49(\text{t})$	計 =	41.49 t									

付帯工数量計算書

種 別	算 式	数 量
排水構造物撤去工	<p>10m当たり</p> <p><b>L型街渠</b></p> <p>コンクリート取り壊し</p> <p>計 =</p> <p><b>歩車道境界ブロック</b></p> <p>撤去(再利用)</p> <p>計 =</p>	<p>1.198 m<sup>3</sup></p> <p>16.50 個</p>
排水構造物設置工	<p>10m当たり</p> <p><b>L型街渠</b></p> <p>コンクリート工</p> <p>計 =</p> <p>型枠</p> <p>計 =</p> <p>砕石基礎</p> <p>計 =</p> <p><b>歩車道境界ブロック</b></p> <p>設置(現場発生品)</p> <p>計 =</p>	<p>1.198 m<sup>3</sup></p> <p>3.10 m<sup>2</sup></p> <p>8.50 m<sup>2</sup></p> <p>16.50 個</p>
L型街渠撤去・復旧	<p>L=1.20(m)</p> <p>計 =</p> <p><b>コンクリート殻運搬</b></p> <p><math>0.12(\text{m}^2) \times 1.20(\text{m}) = 0.144(\text{m}^3)</math></p> <p>計 =</p> <p><b>コンクリート殻処理</b></p> <p><math>0.144(\text{m}^3) \times 2.35(\text{t}/\text{m}^3) = 0.34(\text{t})</math></p> <p>計 =</p>	<p>1.20 m</p> <p>0.14 m<sup>3</sup></p> <p>0.34 t</p>



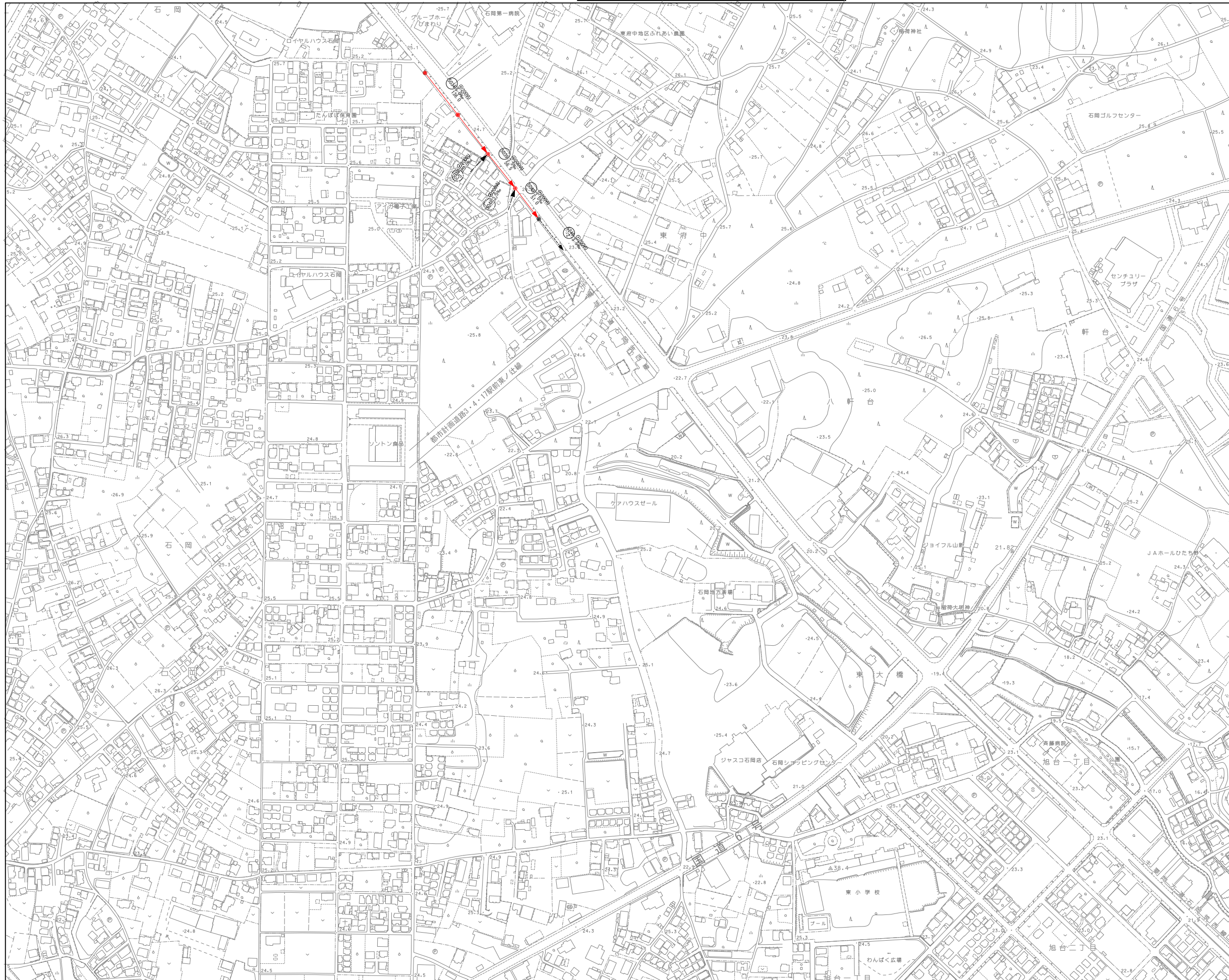
位置図 縮尺 1:10,000



図面種別	位置図	図面番号	1/8
縮尺	1:10,000		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

# 系統図

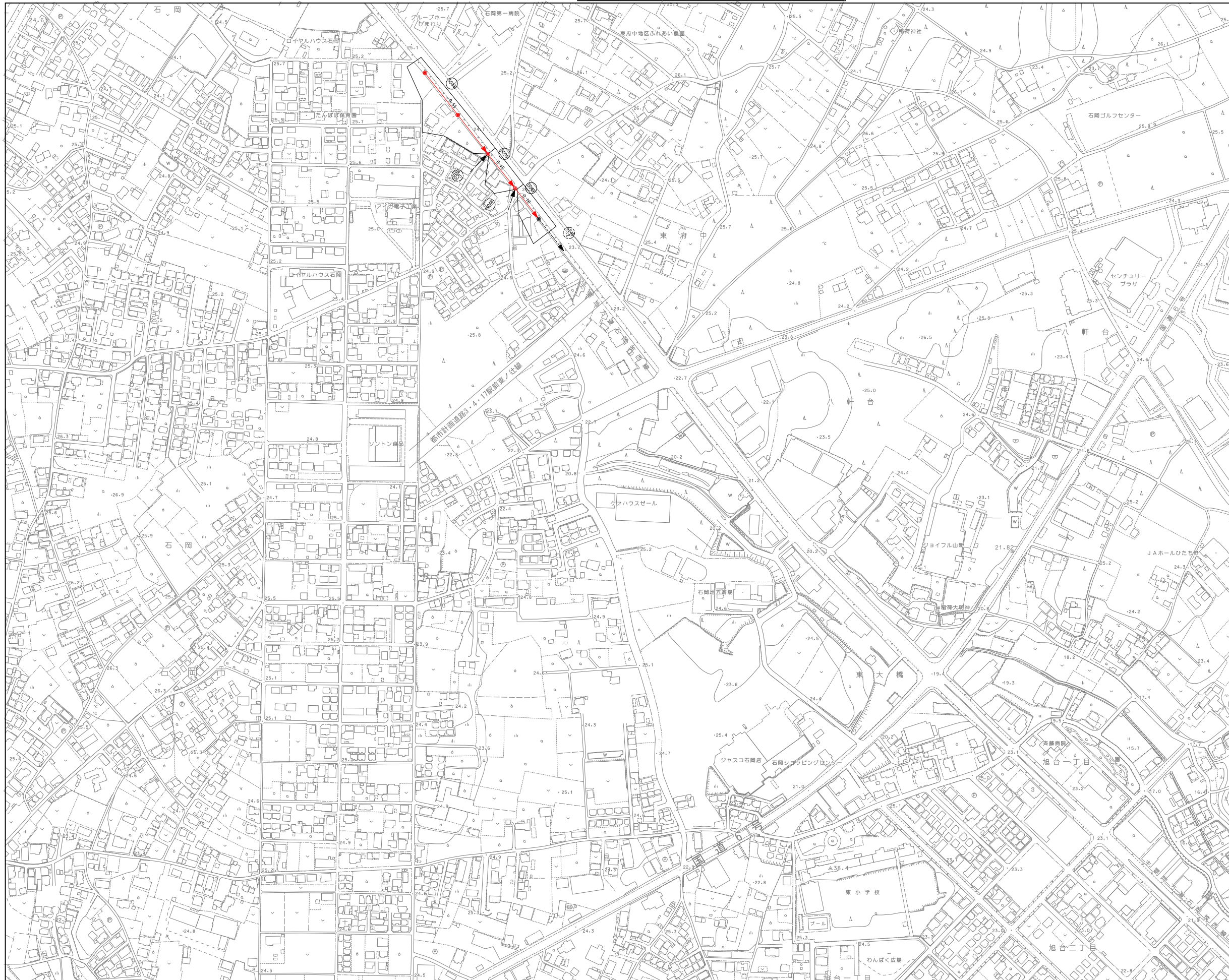
縮尺 1:2,500



図面種別	系統図	図面番号	2/8
縮尺	1:2,500		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡区内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

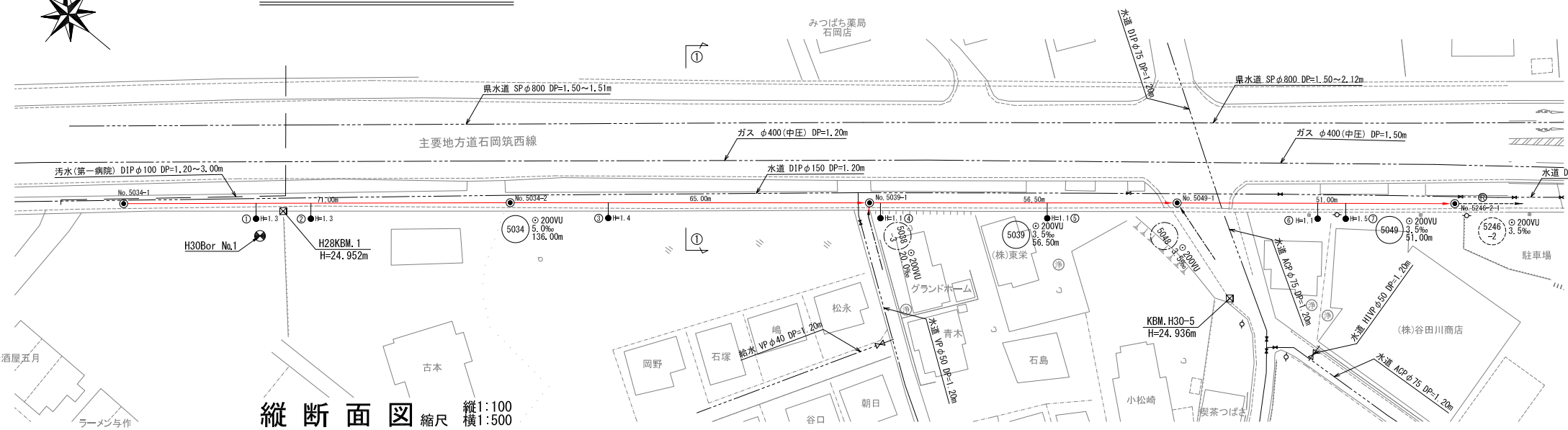
# 区画割図

縮尺 1:2,500

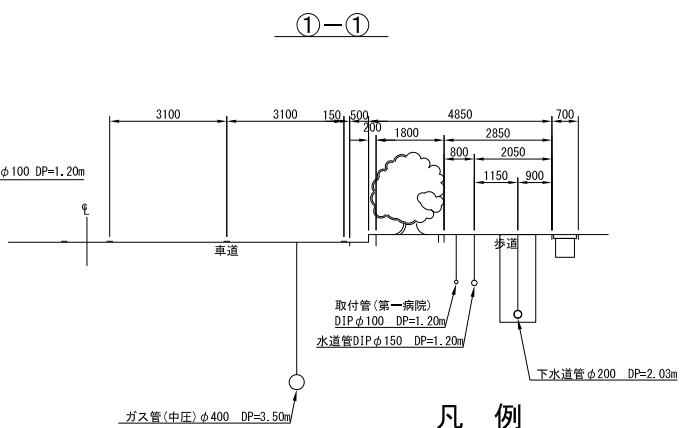


図面種別	区画割図	図面番号	3/8
縮尺	1:2,500		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡区内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

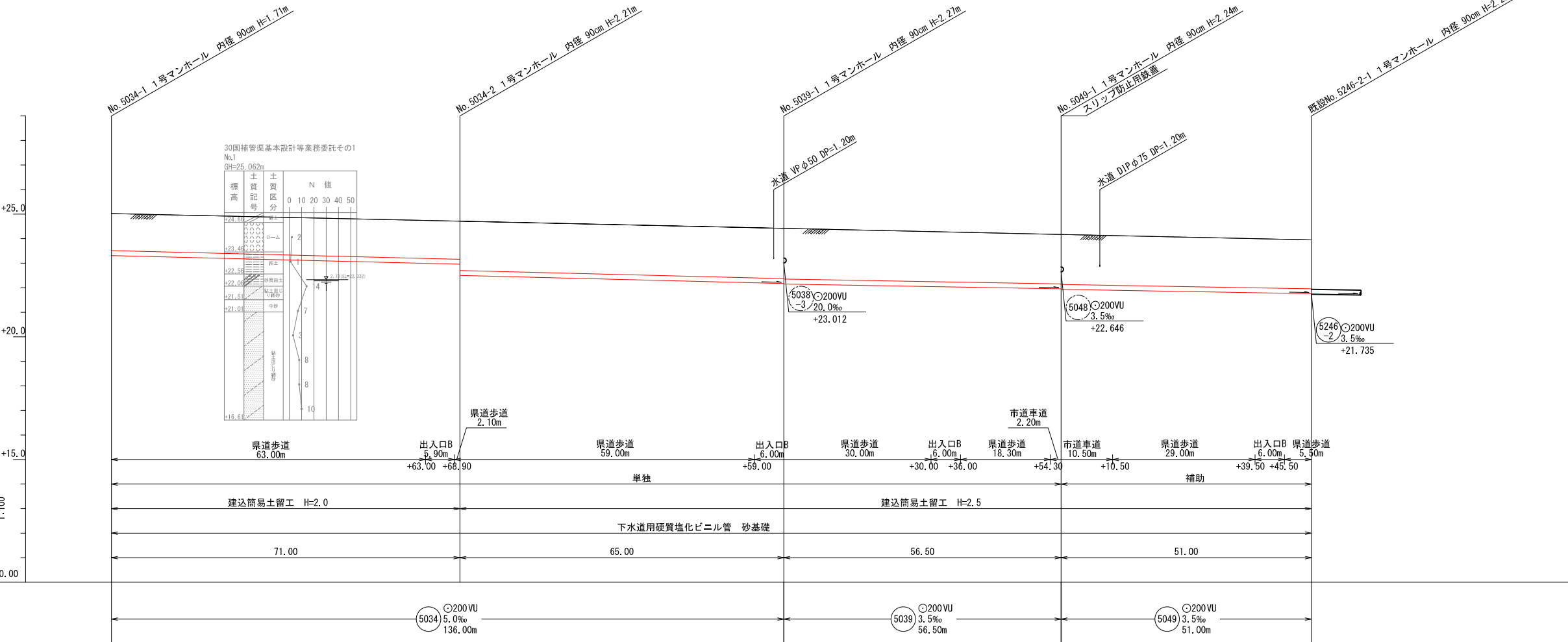
平面図 縮尺 1:500



横断面図 縮尺 1:100



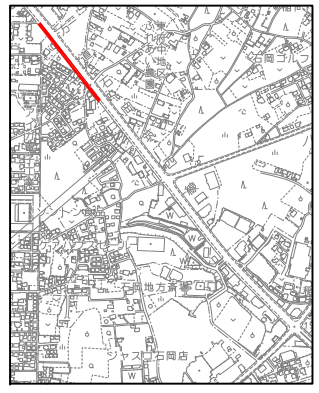
縦断面図 縮尺 縦1:100 横1:500



凡例

名称	記号
実施路線	——▶
計画路線	- - - -▶
既設路線	- · - · -▶
小型入孔 (内径30cm円形)	⊗▶
0号入孔 (内径75cm円形)	○▶
1号入孔 (内径90cm円形)	⊙▶
2号入孔 (内径120cm円形)	⊚▶
小口径塩ビ樋 (標準型)	H=0.8
小口径塩ビ樋 (ドロップ型)	H=0.8(1.5)
水道管	— · — · —
ガス	- · - · -
電気	— · — · —
NTTケーブル	- · - · -
情報ケーブル	— · — · —

案内図 縮尺 1:10,000

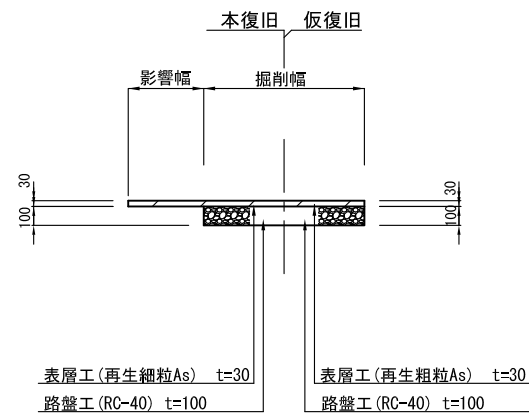


地盤高	25.02	24.71	24.42	24.17	23.95
土被	1.50	1.53	2.03	2.04	2.01
管底高	23.312	22.957	22.172	21.954	21.755
掘削深	1.82	1.84	2.34	2.35	2.32
単距離	0.00	71.00	65.00	56.50	51.00
追加距離	0.00	71.00	136.00	192.50	243.50

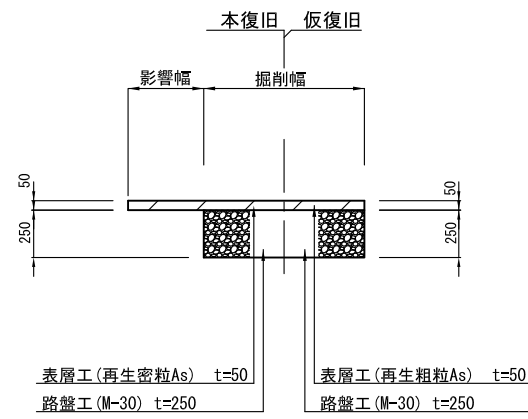
図面別	平面図・縦断面図・横断面図	図面番号	4/8
縮尺	図示		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			



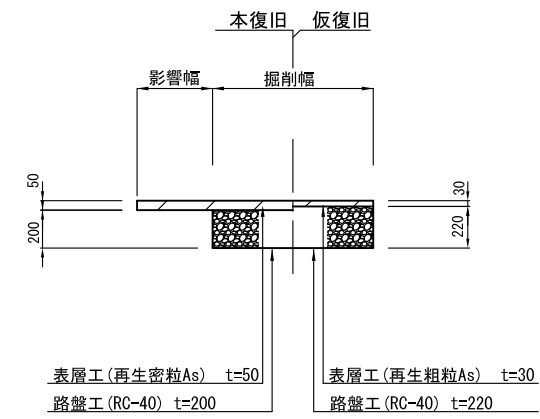
舗装復旧図(県道歩道)



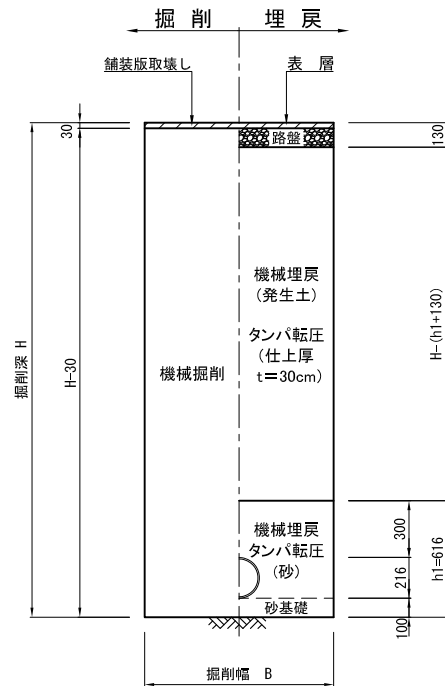
舗装復旧図(出入口B)  
出入口幅員 4.0~6.0m



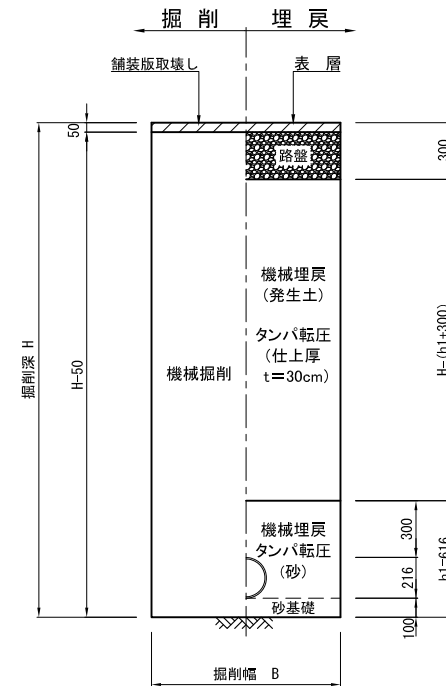
舗装復旧図(市道車道)



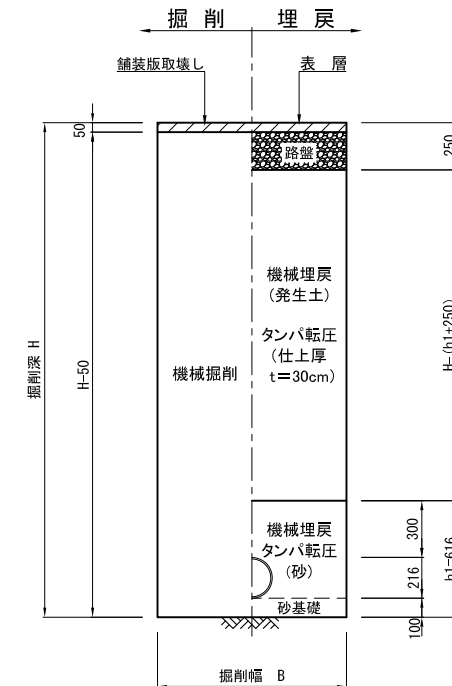
土工断面図(県道歩道)



土工断面図(出入口B)

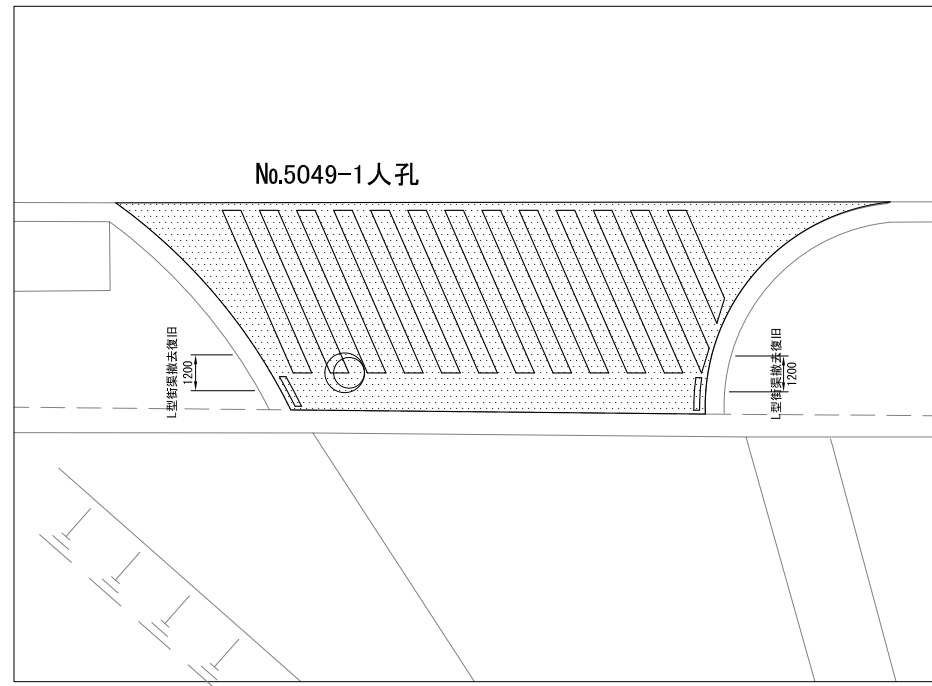


土工断面図(市道車道)

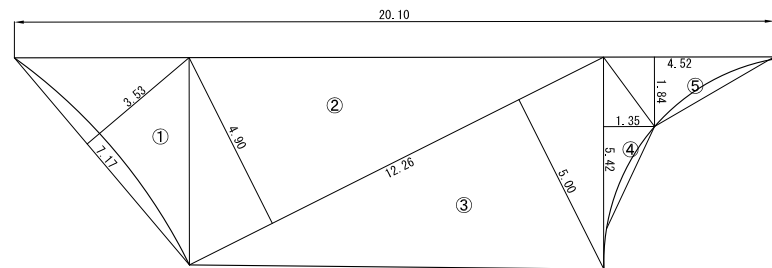


図面別	舗装構成図・土工断面図	図面番号	5/8
縮尺	1:20		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

# 付帯工図 縮尺 1:100



## 求積図 No.5039-1+54.30~No.5049-1+10.5



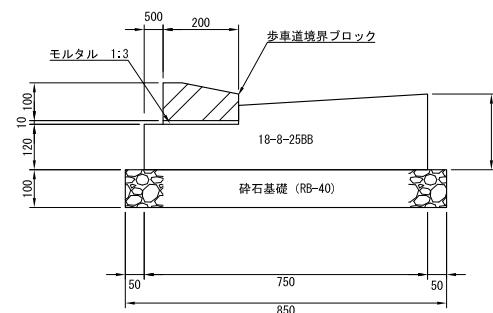
### 舗装復旧面積

①	$7.17 \times 3.53 \div 2 = 12.6\text{m}^2$
②	$12.26 \times 4.90 \div 2 = 30.0\text{m}^2$
③	$12.26 \times 5.00 \div 2 = 30.6\text{m}^2$
④	$5.42 \times 1.35 \div 2 = 3.6\text{m}^2$
⑤	$4.52 \times 1.84 \div 2 = 4.1\text{m}^2$
計	$= 80.9\text{m}^2$

- 舗装版切断延長 L=20.10m
- 区画線工
  - 区画線設置 実線45cm 合計L=52.4m
  - 4.3m × 11本
  - 3.1m × 1本
  - 2.0m × 1本
  - 区画線設置 実線15cm 合計L=1.8m
  - 0.8m × 1本
  - 1.0m × 1本
- L形街渠撤去復旧 L=2.4m

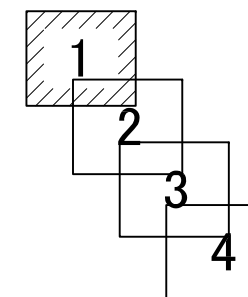
## L形街渠復旧図(低)

縮尺 1:10



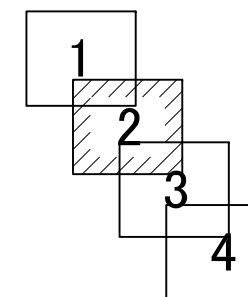
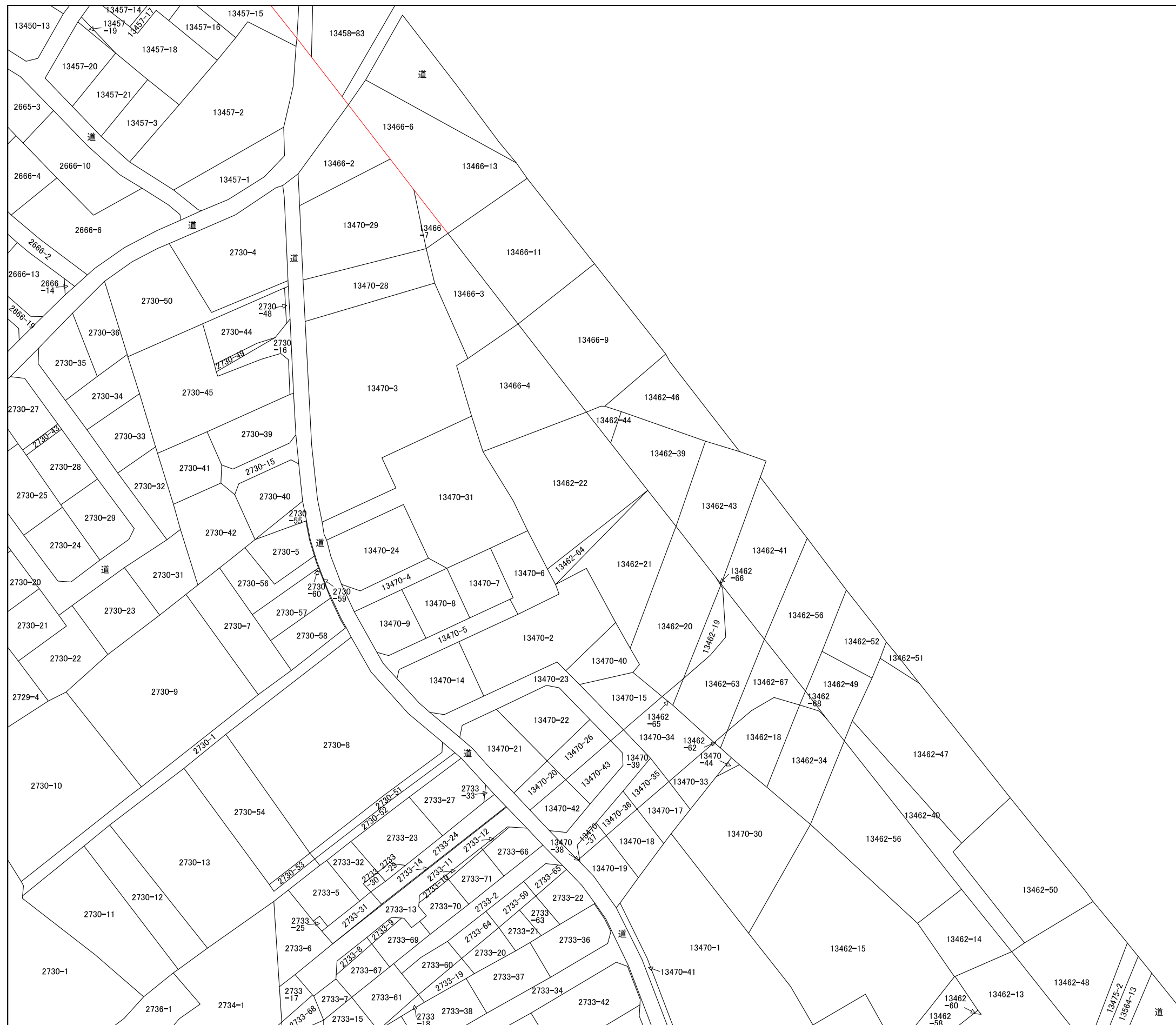
図面種別	付帯工図	図面番号	6/8
縮尺	図示		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

公図写図 1/4 縮尺 1:500



図面種別	公図写図1/4	図面番号	7/8
縮尺	1 : 500		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

公图写图 2/4 縮尺 1:500

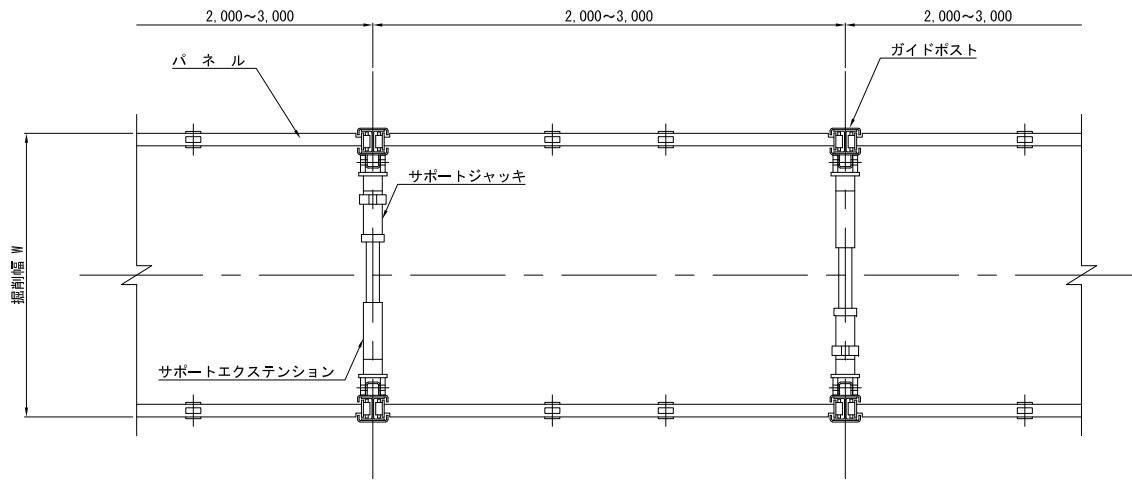


図面種別	公图写图2/4	図面番号	8/8
縮尺	1:500		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

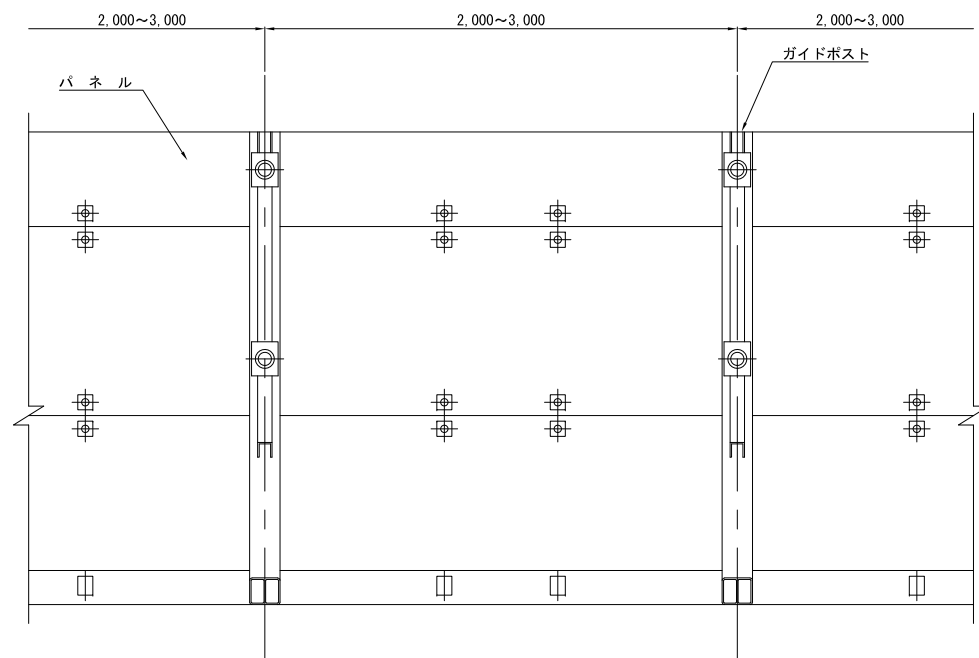
# 土留工標準図 縮尺 1:20

(建込簡易土留)

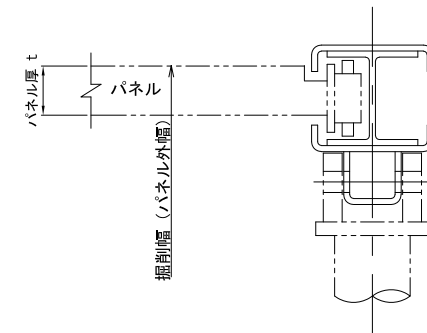
## 平面図



## 正面図



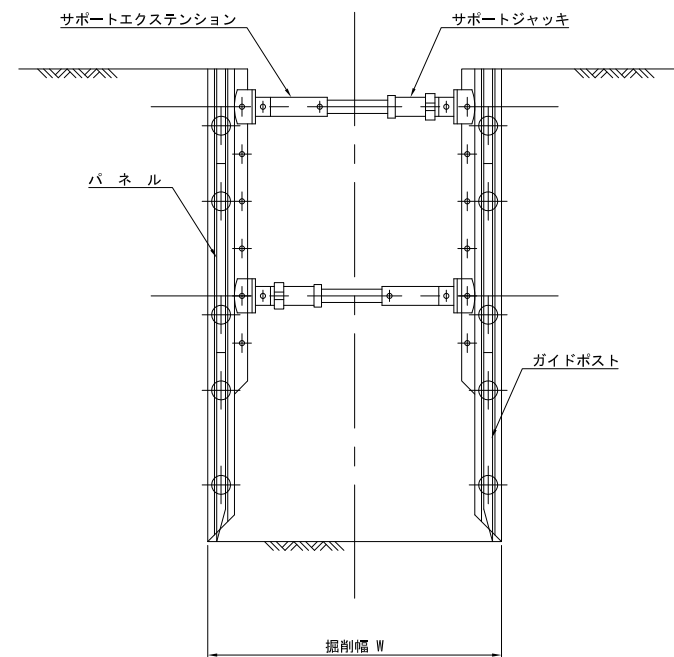
## ガイドポスト詳細図 縮尺 1:5



掘削深 H (m)	パネル厚 t (mm)
1.5m < H ≤ 3.5m	65
3.5m < H ≤ 5.0m	105

※ パネル厚はメーカーや機種により異なるため、参考値とする。  
 ※ 掘削深が5.0mを超える場合にはダブルとする。

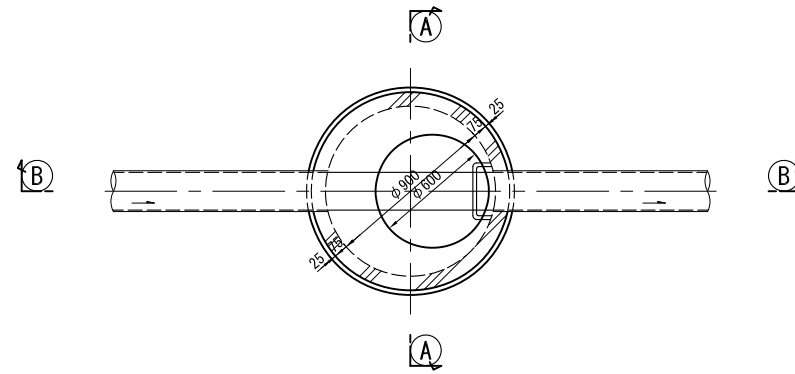
## 断面図



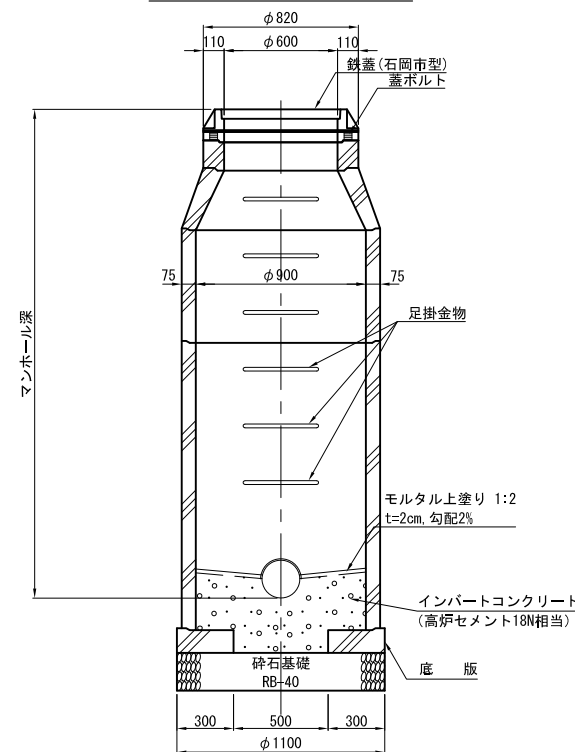
図面種別	土留工標準図 (建込簡易土留)	図面番号	1 / 3
縮尺	図示		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

組立1号マンホール標準構造図 縮尺 1:20

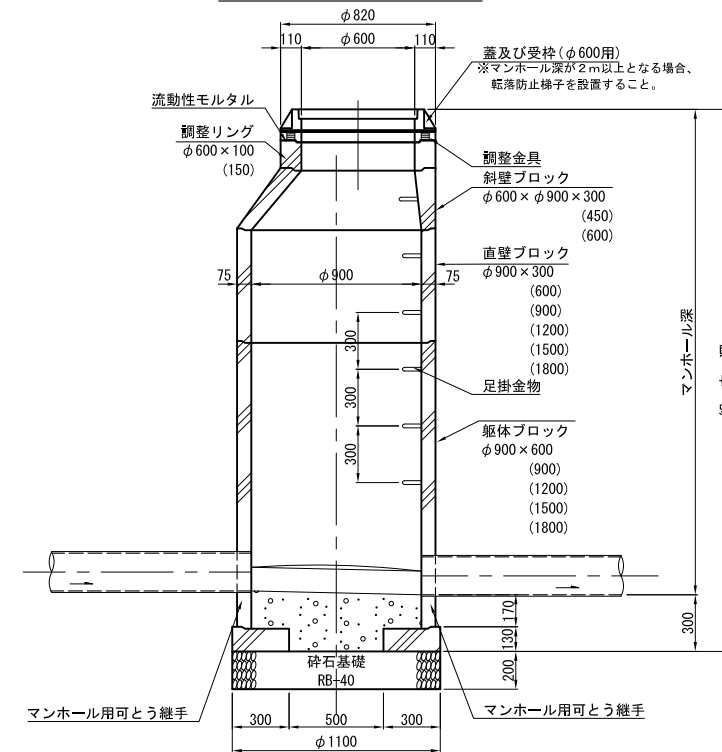
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図



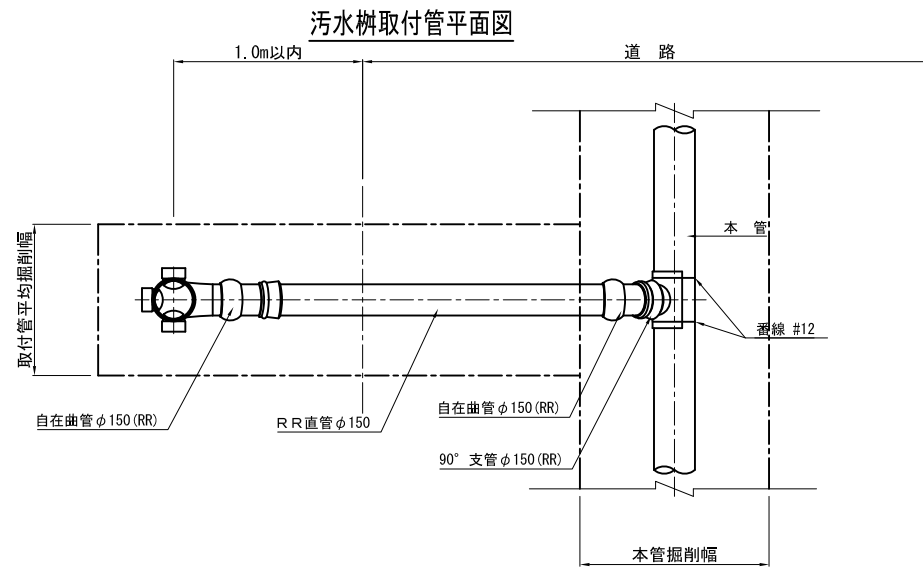
鉄蓋(石岡市型)



- 注記 1) マンホール最小落差は2cmとする。  
 2) 足掛金物は、維持管理上支障の無い路肩側または下流側に設置する。  
 3) 基礎砕石は承認図の底盤幅を設計値とする。  
 4) 上下流の落差が60cm以上となる場合は副管を設置する。

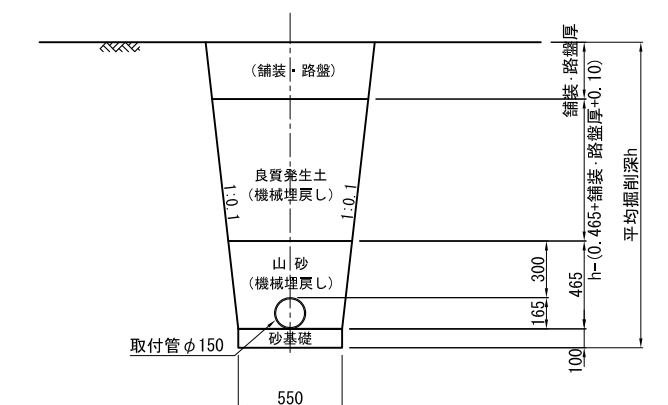
図面種別	組立1号マンホール標準構造図	図面番号	2/3
縮尺	図示		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

# 污水樹取付管標準図 縮尺 1:20



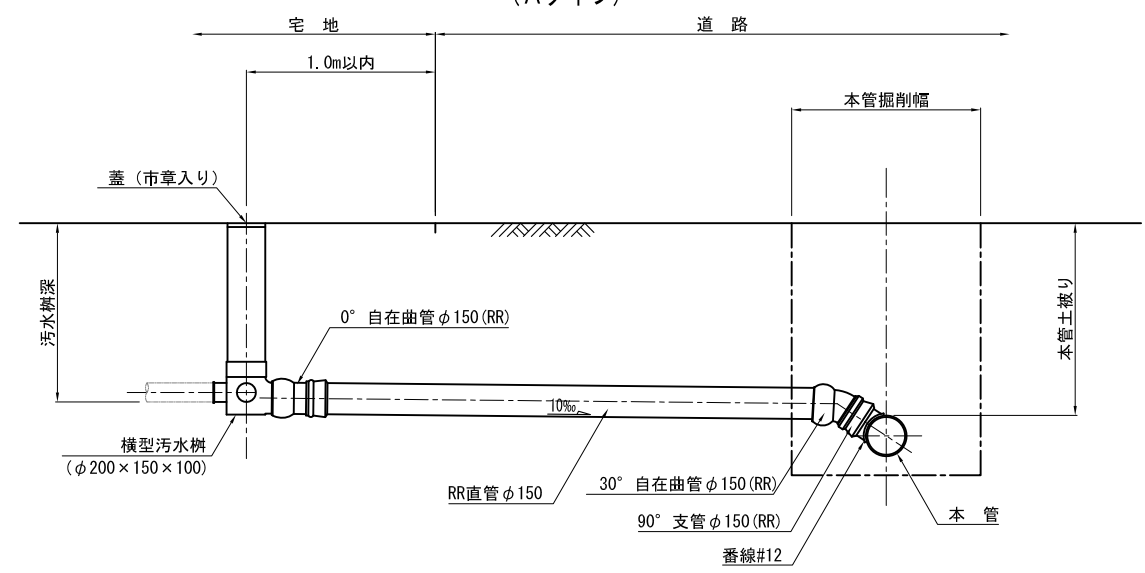
# 取付管標準土工断面図 縮尺 1:20

(掘削深 1.5m以下)

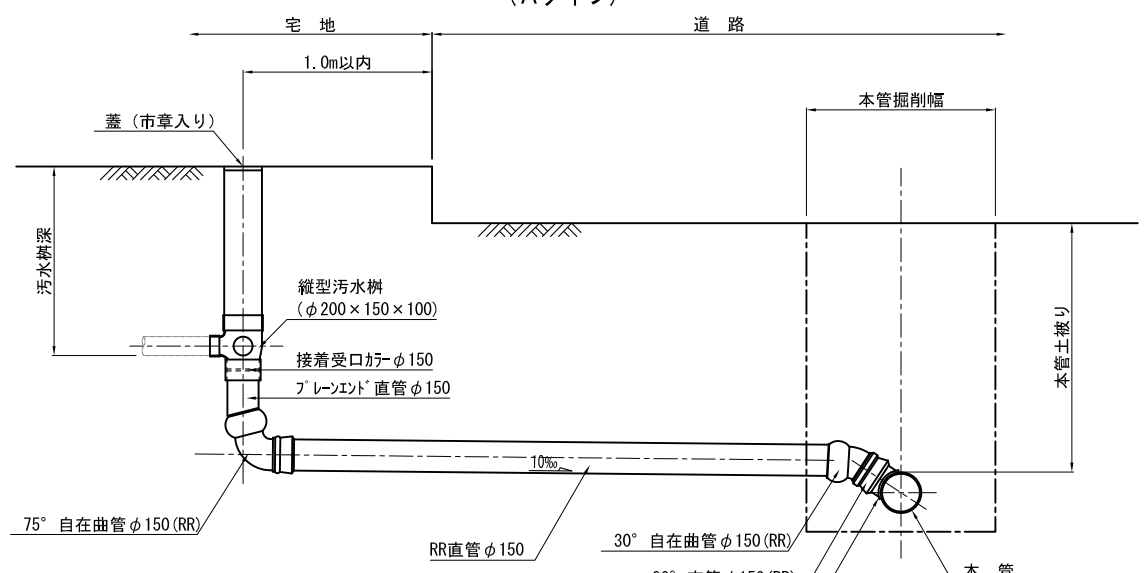


※掘削深が1.5mを超える場合は、土留め工を施す。

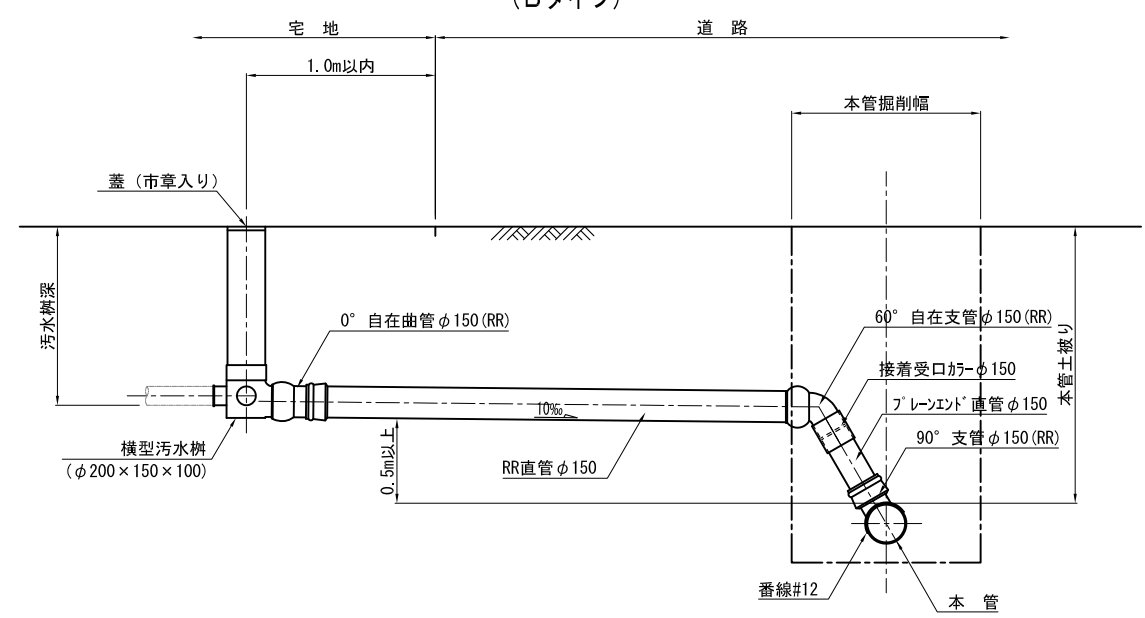
## 污水樹取付管標準図 (Aタイプ)



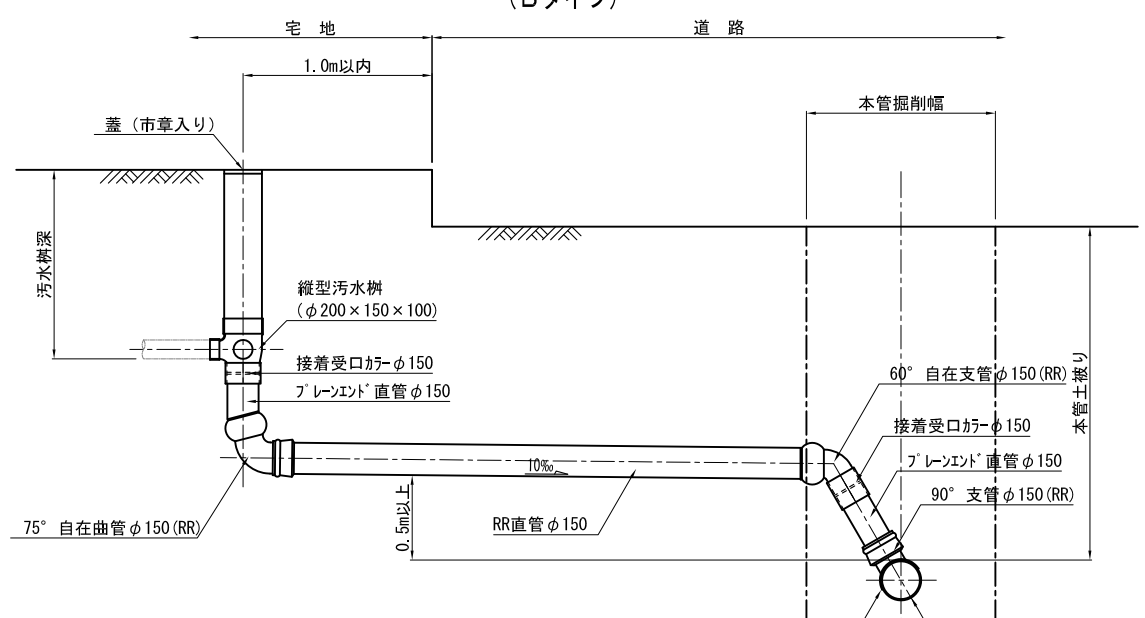
## ドロップ污水樹取付管標準図 (Aタイプ)



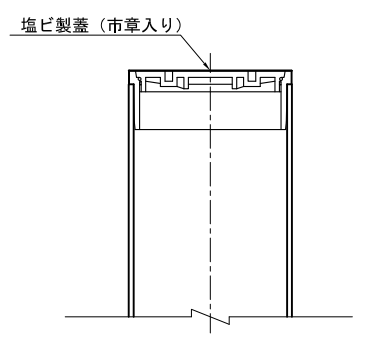
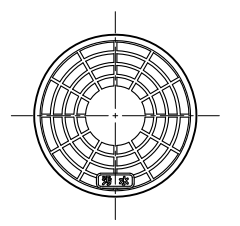
## 污水樹取付管標準図 (Bタイプ)



## ドロップ污水樹取付管標準図 (Bタイプ)



## 蓋 (塩ビ製T-2) 縮尺 1:5



図面別	污水樹・取付管標準図	図面番号	3
縮尺	図示		
工事名	R元国補・R2市単公下合併第1号工事		
工事場所	石岡市石岡地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			